

日本NGO連携無償資金協力
カレン州少数民族地域農村部の民生向上事業

補足資料

・ 事業総評	1
・ はじめに	
・ 事業総評	
1. 農村ビジネスでの収入向上活動	5
1-1. 農業施設の整備細評	
1-2. 生産・教育・マーケット開拓活動(収入向上分野)細評	
1-2-1. 生産活動細評	
1-2-2. 教育活動細評	
1-2-3. マーケット開拓活動細評	
2. 社会セーフティーネットの整備活動	20
2-1. 共助の関係構築細評	
2-2. 公助の供給促進活動細評	
2-3. 地域間の連携活動細評	
2-4. 事業評価活動細評	
◆DAC評価	
3. 広域地域開発活動	38
3-1. 現地団体との連携活動細評	
3-2. ミャンマー当局や民間企業との連携細評	

カレン州少数民族地域農村部の民生向上事業

はじめに

【ミャンマーの基本情報】

ミャンマーは東南アジアに位置する国で、西側はバングラデシュ、北西はインド、北東は中国、東はラオス、南東はタイと接している。ミャンマーにはベンガル湾とアンダマン海に沿った長い海岸線がある。同国は7つの州と7つの地域に分かれており、ナピドーが首都である。最大の都市であり、かつての首都はミャンマーの南部に位置するヤンゴンである。ミャンマーは山地、森林、川、海岸地域を含む多様な地形を持つ国である。

- ・人口：世界銀行から入手可能な最新のデータによると、ミャンマーの人口は約 5,440 万人 (2021年現在)。
- ・国土面積：ミャンマーの国土面積は約 676,578 平方キロメートル。
- ・産業：ミャンマーの主な産業には、農業、製造業、天然資源の採掘 (石油、ガス、鉱物など) がある。
- ・民族：ミャンマーには多くの異なる民族グループが住んでおり、ビルマ民族グループが最大 (人口の約 68%)。

他の主要な民族グループには、シャン族、カレン族、ラカイン族、チン族、モン族などがある。

ミャンマーは、さまざまな文化、言語、宗教を持つ多様な国であることは注目に値する。国の政治情勢は複雑で、近年の紛争と不安定さが特徴である。

【クーデターの背景】

2021年2月1日、ミャンマーでクーデターが発生した。このクーデターの背景には、2020年の総選挙の結果に対するミャンマー軍の不満がある。選挙で与党である国民民主連盟 (NLD) が圧勝し、軍支持政党は敗北したため、ミャンマー軍は不満を抱いた。軍は選挙が不正であったと主張し、政府のCOVID-19への対応にも不満を抱いていた。クーデター前には、軍のトップであるミン・アウン・フラインは引退する予定でした。しかし、ミン・アウン・フラインが引退する前に、軍はクーデターを実行し、政府関係者を拘束した。クーデター後、軍は非常事態を宣言し、憲法を停止した。また、軍政権を形成するために国家行政評議会 (SAC) を設立した。これに対し、市民や民主主義支持者たちは抗議行動を行い、軍政に反対する声を上げている。

【クーデターの主な理由】

ミャンマー軍は、様々な理由で国民民主連盟 (NLD) 政権を批判した。主な理由の1つは、NLDが圧倒的多数で勝利した2020年11月の総選挙の結果に不満を持っていたことである。軍は広範な選挙不正や不正確さがあったと主張したが、独立した観察者はこの主張を否定した。さらに、軍は民族紛争やCOVID-19パンデミックなどの様々な問題に対するNLD政府の対応に不満を持っていた。軍は、これらの問題に対処するにあたり、NLDが弱すぎると考えており、自分たちが国を率いることが適していると考えていた。さらに、軍とNLDのリーダーであるアウンサンスーチーとの間には個人的な緊張関係があった。軍は、アウンサンスーチーが政府内で持つ権力と影響力に不満を抱き、自らの権力にとって脅威と見なした。全体的に、軍がNLD政権を批判した要因はいくつかあり、最終的に2021年2月のクーデターに繋がった。

カレン州少数民族地域農村部の民生向上事業

【クーデター発生後】

ミャンマークーデター後の状況は、暴力や抗議活動が続いている。軍事政権は報道の自由を抑圧し、インターネットやソーシャルメディアを制限するなどの措置を取っている。多数の政治家や市民社会活動家が拘束され、一部は拷問や虐待を受けている。国際社会はミャンマーに対する制裁や非難を行っており、民主主義回復を求める声が高まっている。

ミャンマーにおける民主派の抵抗運動の状況は複雑で困難である。2021年2月の軍事クーデター以来、民主主義運動は軍事政権による暴力的な弾圧と取り締まりに直面している。それにもかかわらず、ミャンマー全土で抵抗と反対運動は広範に続いており、様々な形での抗議、ストライキ、市民不服従運動などが行われている。これらのデモは多くが暴力や逮捕に直面し、治安部隊による拷問や不法殺害の報告もあった。これらの草の根運動に加えて、民族武装グループや他の反対勢力で構成された活発な抵抗運動も存在している。これらのグループは長年にわたって軍と戦い、クーデター以来その努力を強めている。また、国民民主連盟（NLD）の選出議員やさまざまな民族政党から成るグループである国民統一政府（NUG）も、軍事政権に反対するために結成された。NUGは自らをミャンマーの正当政府と宣言し、いくつかの国によって認められている。しかし、抵抗運動は、資源や武器の欠如、反対派内部の分裂、軍事力の圧倒的な力など、重要な課題に直面している。状況は非常に不安定で予測不能であり、暴力や人権侵害が報告されている。

【ミャンマーとロシアの関係】

ミャンマーのクーデター以降、ミャンマー軍とロシアの関係は強固なものとなっている。多くの国が制裁を課し、クーデターを非難している中、ロシアはミャンマー政府と引き続き接触を続けている。2021年3月、ミャンマーの軍事指導者であるミン・アウン・フライン上級大將がロシアを訪問し、セキリティ会議に出席し、ロシアの関係者と会談した。この訪問中、両国は軍事関係を強化し、ロシアのミャンマーへの投資を増やすことについて話し合った。国際社会が武器禁輸を求める中、ロシアは引き続きミャンマー軍に武器を供給している。2021年6月、ロシアの軍艦がミャンマーに到着し、軍事装備を積んでいた。ミャンマー軍とロシアの緊密な関係は、民主化運動の抑圧や少数民族への圧迫を助長するとして批判されている。しかし、ロシアはミャンマーの内政に干渉していないとし、両国間の関係を強化することにコミットしているとしている。

【ミャンマーと中国の関係】

ミャンマー軍と中国の関係は、クーデター以前から比較的密接であった。クーデター後、中国はミャンマー国軍政府を承認し、他の国々がミャンマーへの援助を凍結する中、続けて援助を提供している。また、ミャンマー軍は中国から武器を輸入しており、中国はミャンマーでのインフラ建設などの投資を進めている。ただし、ミャンマー国内での抗議活動が続く中、中国による影響力拡大に対する懸念も指摘されている。

【カレン州の状況】

最新の報告によると、ミャンマーのカレン州における紛争状況は依然として緊迫しており、不安定な状況が続いている。2021年2月に発生した軍事クーデターにより、この地域での暴力や人権侵害が増加している。ミャンマー軍は、カレン州の武装勢力に対して空爆や地上攻撃を行い、何千人もの人々が避難し、市民の犠牲も報告されている。また、軍事が市民に対して無差別な力を行き、非合法的な殺害、拷問、恣意的な拘束などの人権侵害が行われているとの報告もある。カレン州には様々な武装勢力が存在し、そのうちの一部が軍事クーデターに反対する抗議者たちと連携している。日本政府は、ミャンマーにおける紛争や人権侵害に対して懸念を表明しており、軍事クーデターに対して援助や開発支援を中止している。日本はまた、カレン州での暴力によって影響を受けた人々、特に避難民を支援する人道支援団体を支援している。

日本NGO連携無償資金協力

カレン州少数民族地域農村部の民生向上事業

事業総評

【活動実施体制】

事業実施団体：特定非営利活動法人グレートメコンセンター（NPO-Greater Mekong Center）

現地提携団体：（ミャンマー側）Greater Mekong Subregion Agriculture and Education Development Center
（タイ側）Thai Japan Education Development Foundation

パートナーシップ：公益財団法人 日本財団（The Nippon Foundation）

カウンターパート：ミャンマー連邦カレン州農業畜産灌漑省（Ministry of Agriculture, Livestock, Irrigation, Kayin state）
カレン民族同盟（Karen National Union）
カレン民族同盟・民族解放軍平和評議会（Karen National Union/Karen National Liberation Army Peace Council）
トゥコク村委員会（Htu Koh Kue Committee）
ティーワープラオ委員会（Hti War Plaw Committee）
カレン農業省（Karen Agriculture Department）

【事業の必要性と課題への挑戦】

2021年2月のクーデター発生以降、ミャンマーの経済活動は崩壊しており、欧米諸国からの経済制裁も相まって、貧困層への影響は非常に大きくなっている。世銀による2021年の実質経済成長率は - 18.0%（22年は3.0%を予測）であり、こうした状況下で少数民族地域の経済を下支えすることで、貧困層への影響を極力抑えることが課題であることから、下記の通り、

- ・ 農村ビジネスを軌道に乗せ、地域経済を活性化させる。
- ・ 農業ビジネスを核にセーフティーネットを整備、コミュニティ内での共助関係を構築する
- ・ 上記の事業を推進し、地域社会の民生安定を目指す

を事業目標に掲げ、事業を進めた。

【事業内容と活動の関係性】

本事業では、1.農村ビジネスでの収入向上活動、2.社会セーフティーネットの整備活動を実施し、ここで得られる知見や成果を3.広域地域開発活動、として州内の少数民族地域コミュニティへ広く展開することで少数民族地域の民生の安定と底上げを行う。

① 農村ビジネスでの収入向上活動：

- ・ 各地域の農業施設を整備する
- ・ 生産・教育・マーケット開拓活動

② 社会セーフティーネットの整備活動：

- ・ 共助の関係構築：村内コミュニティと連携し、農畜産物の共同生産を行う。
- ・ 公助の供給促進：少数民族地域で行政サービスを展開する仕組み作りを進める。
- ・ 地域間の連携：少数民族地域全域に点在するコミュニティが連携しあう関係や基盤の整備を行う。
- ・ 事業評価会議による事業の透明化

③ 広域地域開発活動：

- ・ 現地で活動する団体と連携し、農業生産物の生産を行う。
- ・ ミャンマー当局や民間企業と連携し、少数民族地域全般で生産を実施する。

【上位目標】

カレン州少数民族地域での農村ビジネスの育成とセーフティーネットの整備を通して、住民の生活の安定と底上げを図る

【評価】

事業目標を達成し、また本事業関係者の評価から判断しても、上位目標に向け十分な貢献ができたと考える。

【事業目標】

カレン州少数民族地域にある事業地にて、農産物の多角化を軸とする農村ビジネスを軌道に乗せ、地域経済を活性化させる。また社会的セーフティーネットを整備することでコミュニティ内での共助関係が構築される：**概ね計画通り達成**

【目標の達成度】

1. 農村ビジネスにより、活動地域の自立に向けた足掛かりを作る：**計画以上に達成**

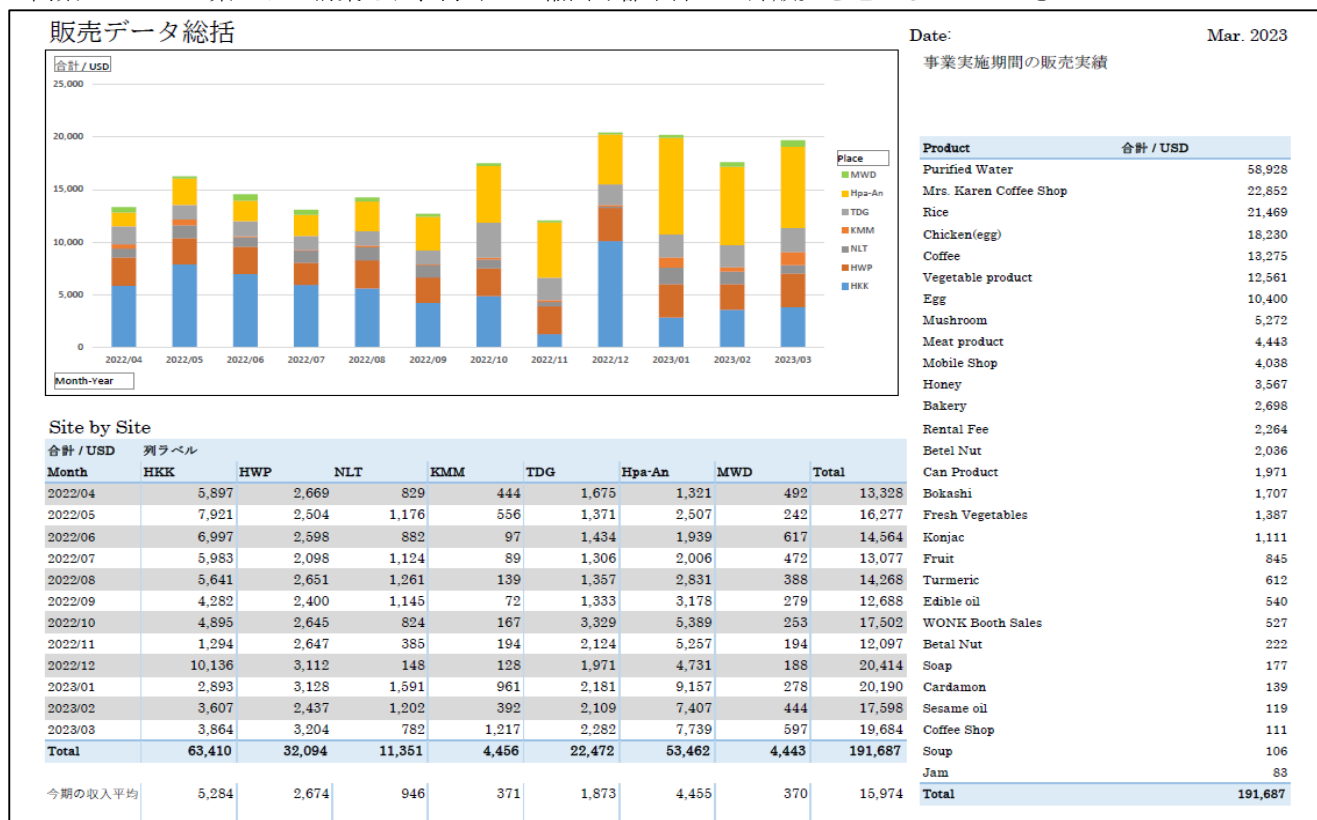
- 農業施設の整備が完了した
- コミュニティの収入が月平均**5,205USD**（前年度比48.3%）向上した。なおこの数値は事業地全体のものである。
- OEM契約生産体制（委託者のブランドで製品を生産）、SNSによる直販、行政調達品に仮採用、信用販売、宅配サービス、ブース物販と様々な販売方法を採用することで、安定した収入をコミュニティにもたらした
- マーケットからの信頼を得られるよう、食品安全基準登録や品質検査といった品質証明活動も積極的に進めた
- メディアやSNSによる広報で、各地の農業生産物の認知向上

2. セーフティーネットにより、地域住民が安心や安全を享受できる。：**一部遅延したもの、概ね計画通り達成**

- 基金や農業組合、団体等を組織し、共助の関係構築を構築することができた。なおこれらの組織化により仲買人との交渉力強化、海外輸出の機会提供、資機材のコミュニティ間での共有、寄付により地域還元等が可能となった。
- 州農業局と共に避難民支援の一環としてキノコ栽培、野菜栽培の研修を実施。当該地域にはKNU支配地での戦闘からの避難民約4,000人が避難生活をしている。定期的に現地を訪問し、フォローアップ研修も実施。
- また定期的な事業評価会議を行うことで、政変下の繊細な政情でも政府・EAOとの関係を維持することができた

3. 上記の成果を少数民族地域全体へと普及、展開することで、カレン州の民生の安定や向上に繋がる：**計画以上に達成**

- 商業ベースでの繋がりが構築され、海外への輸出や都市部への卸販売を進めることができた



1. 農村ビジネスでの収入向上活動

1-1. 農業施設の整備細評

1-2. 生産・教育・マーケット開拓活動(収入向上分野)細評

1-2-1. 生産活動細評

1-2-2. 教育活動細評

1-2-3. マーケット開拓活動細評

1-1. 農業施設の整備細評

【活動概要】

目的： 農業生産物の生産規模拡大や加工製造といった産業多角化経営を目指す。
その自立化に向けて、農畜産生産物の生産規模を拡大するための、施設建設を行う。

建設修復活動：

① トウコク村：保管倉庫・加工場の新設、保管倉庫・畜産施設の増築、灌漑設備設置

Htu Koh Kue			
Base			
	Land preparation	Building materials	Building materials
Structure			
	Build the base	Build the base	Process the structure
			
	Structure	Roofing	Build the drain
Completion of building			
	Monitoring photo	Front	Inside
Storehouse			
	Cement Processing	Extension of Storehouse	Repair the storehouse
Water supply			
	Water supply, Electricity installment	Water supply installation	Water supply installation

1-1. 農業施設の整備細評

建設修復活動：

②ティーフープラオ：保管倉庫（育苗用・農業資材用など）の新整備のほか、灌漑設備を拡張補修

Hti War Plaw Model Farm			
Base			
	Check the land of construction	Building materials	Building materials
Structure			
	Build the base	Build the base	Daily Workers
Completion of building			
	Structure of Storehouse	Structure of Storehouse	Daily Workers
Water supply			
	Walling the Storehouse	Storehouse: Inside	Storehouse: Inside
Water supply			
	Water supply	Water supply	Water supply

1-2. 生産・教育・マーケット開拓活動（収入向上分野）細評

1-2-1. 生産活動細評

【活動概要】

目的：各地域での収益向上のため、農業生産物、畜産物を生産する。

【活動成果】

コミュニティの収入向上：48.3%（目標10%）

事業全体：191,687USD (22.Apr-23.Mar) >>>15,974USD/month

コミュニティの収入が向上する。（対前期10%増）

うち以下は、1.2にかかるトゥコク村とティーワープラオ村の詳細である。

トゥコク村：63,410USD (22.Apr-23.Mar)

















飲料用天然水、ぼかし有機肥料、はちみつ（収入用）

地鶏、やぎ、桑、ネピアグラス、ビターナッツ

ティーワープラオ村：32,094USD (22.Apr-23.Mar)

鶏卵、生鮮野菜、果物、乾燥ハーブ（レモングラス）、きのこ（収入用）

畜産（豚、牛、山羊）、養鶏、養魚

生産物一覧				
HKK				
	Purified water 600ml	Purified water 1000ml	Purified water 20l	Bokashi 10kg
				
	Bokashi 25kg	Honey 250ml	Honey 500ml	Honey with Comb 570ml
HWP				
	Egg	Pineapple	Dragon Fruit	Organic cabbage
				
	Fresh vegetable	Raising Chicks	Raising Pigs	Mushroom

1-2-2. 教育活動細評

【概要】

目的：興味があるものの、長期間の研修に参加できない住民に対し、テーマを絞った研修を提供する
 対象：農業改良普及所周辺（ミャンマー少数民族支配地域）のコミュニティ住民
 講師：農業専門家補佐やカウンターパートスタッフが指導（農業専門家は適宜アドバイス）

【活動成果】

成果指標：短期研修を通して、コミュニティ住民の7割以上の生活が向上している
 アンケート：参加者の**94.6%**が生活向上のための知識や技術を得ることができたと回答
 ※なお今後は参加者が自身のコミュニティに帰還し、それぞれ10人にその知識や技術を普及させる。

【研修内容】

- ・実施期間が短期間となるため、容易に習得が可能な項目に絞り、指導項目を選定
- ・研修終了後、自身で実践が可能となるよう、座学よりも実習を優先した指導工程を採用
- ・指導項目は農業専門家により選定したが、地域のニーズに基づき一部アレンジ

場所	指導内容	参加者数	実施日		
Hti War Plaw	加工技術研修（石鹸、シャンプーといった衛生用品のハンドメイドのノウハウ）	20	4/26	～	4/29
Hti War Plaw	農業技術研修（きのこ栽培技術）	9	5/17	～	5/20
Hti War Plaw	加工技術研修（ジャム・ハーバルティーなど農産品の付加価値加工のノウハウ）	13	6/13	～	6/17
Hti War Plaw	農業技術研修（うこんの収穫手法から保存技術の指導）	14	6/21	～	6/25

【研修評価】：4段階のスコアリング形式にて回答

アンケート実施：4段階スコアリング形式による研修の評価を行う
 設問：参加した研修で生活改善のための知識や技術を得ることができましたか？
 回答：4. とてもできた、3. 十分できた、2. あまりできなかった、1. 全くできなかった

達成者：短期研修参加者で生活改善が期待できると判断された者（回答が3か4のもの）

場所	指導内容	参加者数	達成者	割合
Hti War Plaw	加工技術研修（石鹸、シャンプーといった衛生用品のハンドメイドのノウハウ）	20	20	100.0%
Hti War Plaw	農業技術研修（きのこ栽培技術）	9	9	100.0%
Hti War Plaw	加工技術研修（ジャム・ハーバルティーなど農産品の付加価値加工のノウハウ）	13	12	92.3%
Hti War Plaw	農業技術研修（うこんの収穫手法から保存技術の指導）	14	12	85.7%
合計		56	53	94.6%

・コミュニティ住民の生活向上を評価対象としているが、受講生のコミュニティに対する聞き取り調査は実施困難であるため、アンケートの対象を受講生とする。

・「受講した研修で生活改善のための知識や技術を得ることができましたか？」という質問にて、4段階スコアリング形式による研修の評価を行う

1-2-2.短期研修参加者リスト

◆Handmade skill training

No	Name	Age detailed	Gender	Job Title	Village
1	Naw Ah Tha Lay Sae	16	F	Student	Hti Law Thay
2	Naw Mu Mu	16	F	No job	Hti Law Thay
3	Naw Sae Ka Lae Paw	15	F	Farmer	Hti Law Thay
4	Naw Yoe Gay Paw	15	F	Farmer	Hti Law Thay
5	Naw Htee Khut	17	F	No job	Hti Law Thay
6	Naw Po	16	F	Student	Hti Law Thay
7	Naw Mu Yoe Paw	14	F	Student	Hti Law Thay
8	Naw Chit Nge Nge	26	F	No job	Hti Law Thay
9	Naw Htoo Lwae Mue	15	F	No job	Hti Law Thay
10	Naw Khu Lar Sae	22	F	No job	Hti Law Thay
11	Ma Naw	17	F	No job	Hti Law Thay
12	Naw Yin Aye	19	F	Farmer	Hti Law Thay
13	Naw Cha Mu Ta Yaw	20	F	Farmer	Hti Law Thay
14	Naw La Min Linn	16	F	Student	Hti Law Thay
15	Naw Ba Lae Paw Ah	13	F	Student	Hti Law Thay
16	Naw Poe Thar Sae	18	F	Student	Hpa-An
17	Naw Ba Lae Paw Ah	13	F	Student	Hpa-An
18	Naw La Min Linn	16	F	Student	Hpa-An
19	Naw Sa Ka Yaw	20	F	Farmer	Hpa-An
20	Naw Aye Thi Mya	15	F	Student	Hpa-An

◆Mushroom-skill up Training

No	Name	Age detailed	Gender	Job Title	Village
1	Naw Paw Gay Mue	20	F	Student	Paw Baw Kho
2	Naw Ah Sae Gay	16	F	Student	Paw Baw Kho
3	Naw Ah Khu War	18	F	Student	Paw Baw Kho
4	Saw Yuri War	13	M	Student	Paw Baw Kho
5	Naw Paw Mu Mue	15	F	Farmer	Paw Baw Kho
6	Saw Than Naing	31	M	Farmer	Paw Baw Kho
7	Naw Mue Nay Khu Htoo	18	F	Farmer	Paw Baw Kho
8	Naw Ma Yit	62	F	No job	Paw Baw Kho
9	Naw Mu Ka Lo	56	F	Farmer	Paw Baw Kho

1-2-2.短期研修参加者リスト

◆Agro-Processing skill Training

No	Name	Age detailed	Gender	Job Title	Village
1	Naw Pi	42	F	Farmer	Mae Ka Nae
2	Saw Sae Ka Lu	32	M	Farmer	Paw Law
3	Naw Paw Lae War	15	F	Farmer	Than Pu Yar
4	Naw Cha Mu Ta Yaw	20	F	Other	Than Pu Yar
5	Naw Mu Ye Lae	50	F	Farmer	Than Pu Yar
6	Naw Poe Thar Sae	18	F	Student	Than Pu Yar
7	Naw Sae La Paw	36	F	Other	Than Pu Yar
8	Naw Khu Lar Sae	22	F	No job	Hti Law Thay
9	Naw Ah Thay Paw	16	F	Farmer	Paw Law
10	Naw Ah Poe Lay	13	F	Farmer	Mae Ka Nae
11	Naw Ah La Paw	36	F	No job	Hti Law Thay
12	Naw Kyat	55	F	No job	Mae Ka Nae
13	Naw Ta Kwe Paw	15	F	Farmer	Mae Ka Nae

◆Termeric planting skill Training

No	Name	Age detailed	Gender	Job Title	Village
1	Naw Paw Lae War	15	F	Farmer	Mae Ka Nae
2	Naw Gay Sae	35	F	Other	Paw Law
3	Naw Cha Mu Ta Yaw	20	F	Other	Than Pu Yar
4	Saw Kai Kwar	40	M	Other	Paw Law
5	Naw Mu Lu Thu	25	F	Other	Paw Law
6	Saw Kwar Lar Mu	35	M	Other	Paw Law
7	Naw Khu Lar Sae	22	F	Other	Hti Law Thay
8	Naw Pi	42	F	Farmer	Mae Ka Nae
9	Saw Ah Ka Lu	32	M	Farmer	Paw Law
10	Naw Ah La Paw	36	F	Other	Than Pu Yar
11	Naw Ah La Paw	36	F	Other	Hti Law Thay
12	Naw Ah Poe Lay	13	F	Farmer	Mae Ka Nae
13	Naw Poe Thar Sae	18	F	Student	Than Pu Yar
14	Naw Ah Thay Paw	16	F	Farmer	Paw Law

1-2-3. マーケット開拓活動細評


【行政認可・品質証明活動】

申請免許： Trademark Announcement (Purified water)

内容： 飲料用天然水の商標登録

申請ヶ所： Kawkareik郡 (Htu Koh Kue)

関係部署： Settlement and Land Records Department (カレン州政府農業畜産灌漑省)

Trademark			
	Trademark Announcement in Newspaper		

申請免許： Trademark certificate (Bokashi)

内容： ぼかし有機肥料の商標登録

申請ヶ所： Kawkareik郡 (Htu Koh Kue)

関係部署： Settlement and Land Records Department (カレン州政府農業畜産灌漑省)

Trademark			
	Trademark certificate	Trademark certificate	
Laboratory			
	Certificate	Result of Lab	

申請免許： Small Medium Enterprise License

内容： 小規模産業局のメンバーシップ制度で小規模販売の場合に限り、販売が可能となる

申請ヶ所： Myawaddy郡

関係部署： Directorate of Industrial Supervision and Inspection Department (カレン州政府産業省)

SSID License			
	Certificate	Card-Front	Card-Back

1-2-3. マーケット開拓活動細評








【行政認可・品質証明活動】

申請免許： Small Scaled Industry Department Registration License

内容： 小規模産業局のメンバーシップ制度で小規模販売の場合に限り、販売が可能となる

申請ヶ所： Thandaung Gyi郡

関係部署： Small Scaled Industry Department（カレン州政府農業畜産灌漑省）

SSID License			
	Page 1	Page 2	
Lab test			
	Coffee		Green Tea
			
	Turmeric	Cardamon	

申請免許： Small Scaled Industry Department Registration License

内容： 小規模産業局のメンバーシップ制度で小規模販売の場合に限り、販売が可能となる

申請ヶ所： Thandaung Gyi郡

関係部署： Small Scaled Industry Department（カレン州政府協力地域開発省）

SSID License			
	License	Labo test	

1-2-3. マーケット開拓活動細評

【市場調査と市場開拓活動】

内容： Covid-19の感染拡大や政変の影響もあり、本年度は特にオンラインでの市場開拓に注力し、活動を行った

市場開拓一卸売り			
	Petrol Station to distribute Drinking Water @ Kawkareik	Petrol Station to distribute Drinking Water @ Kawkareik	Wholesale of bokashi fertilizer
SNS Page GMC			
Online marketing	Marketing strategy team page	GMSAEDC top page	Product introduction
SNS Page Htu Koh Kue			
Online marketing	Top Page	Product introduction	Product introduction
SNS Page Hpa-An			
Online marketing	Top Page	Product introduction	Product introduction
SNS Page Myawaddy			
Online marketing	Top Page	Product introduction	Product introduction
SNS Page Hpa-An			
Online marketing	Top Page	Product introduction	Product introduction

1-2-3. マーケット開拓活動細評

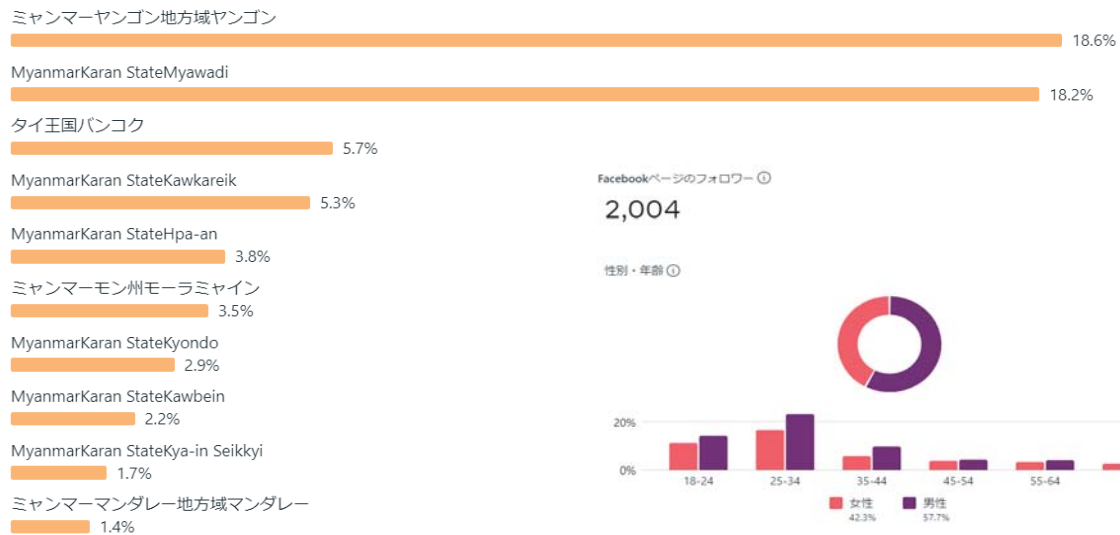
【認知・販売促進活動】

③SNSでの広報：

ミャンマー側： オンライン上で、農業事業や農業生産物、取扱い場所の紹介を行い、情報の拡散と付加価値の向上を目指す。

	媒体	Facebook
	ページ名	Peace Delight Foundation
	開設	2021/10/30
	対象期間	2022/03/14～2023/03/13
	フォロワー数	2,004

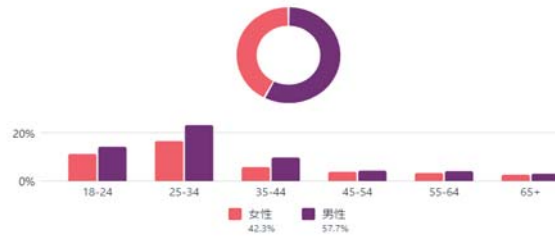
上位の市区町村



Facebookページのフォロワー ①

2,004

性別・年齢 ①



Facebookページのリーチ ①

357,122 ↑ 354.6%



Facebookページへのアクセス ①

7,299 ↑ 231.2%



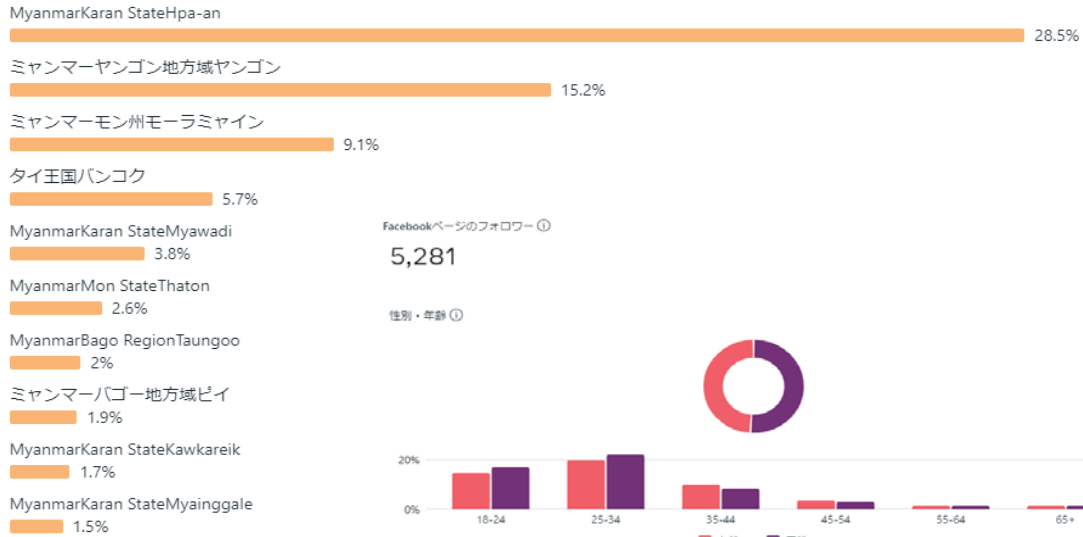
Facebook Pageリーチ：357,122人

Facebook Pageアクセス：7,299人

1-2-3. マーケット開拓活動細評

 <p>Kayin Women's Products 5,076 件の「いいね!」・5,274人 フォロワー</p>	媒体	Facebook
	ページ名	Kayin Womens Product
	開設	2022/3/24
	対象期間	2022/03/24～2023/03/13
	フォロワー数	5,281

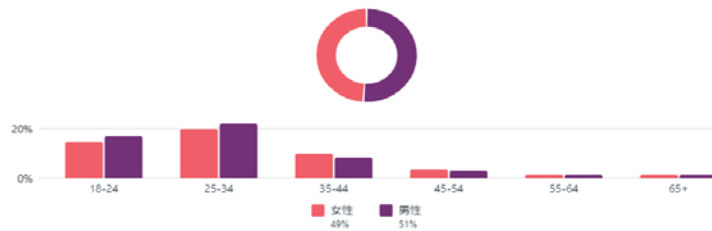
上位の市区町村



Facebookページのフォロワー①

5,281

性別・年齢①



Facebookページのリーチ①

665,821 ↑ 100%



Facebookページへのアクセス①

25,447 ↑ 100%



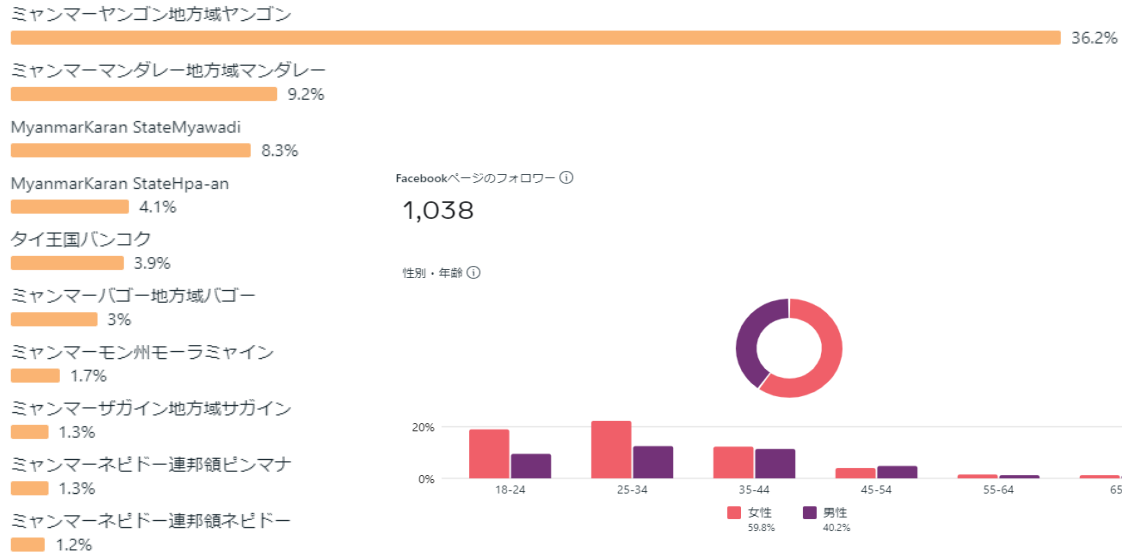
Facebook Pageリーチ：665,821人

Facebook Pageアクセス：25,447人

1-2-3. マーケット開拓活動細評

	媒体	Facebook
	ページ名	Myawaddy food house
	開設	2021/10/23
	対象期間	2022/03/24～2023/03/13
	フォロワー数	1,038

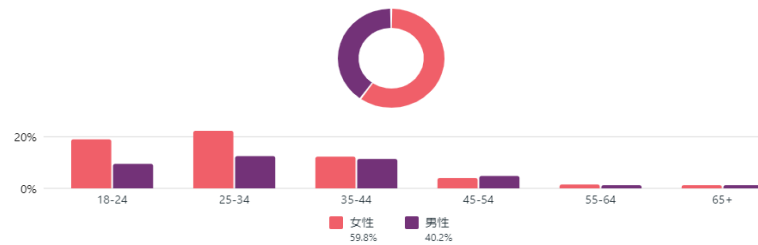
上位の市区町村



Facebookページのフォロワー①

1,038

性別・年齢①



Facebookページのリーチ①

61,731 ↑ 3,421.4%



Facebookページへのアクセス①

3,902 ↑ 398.3%



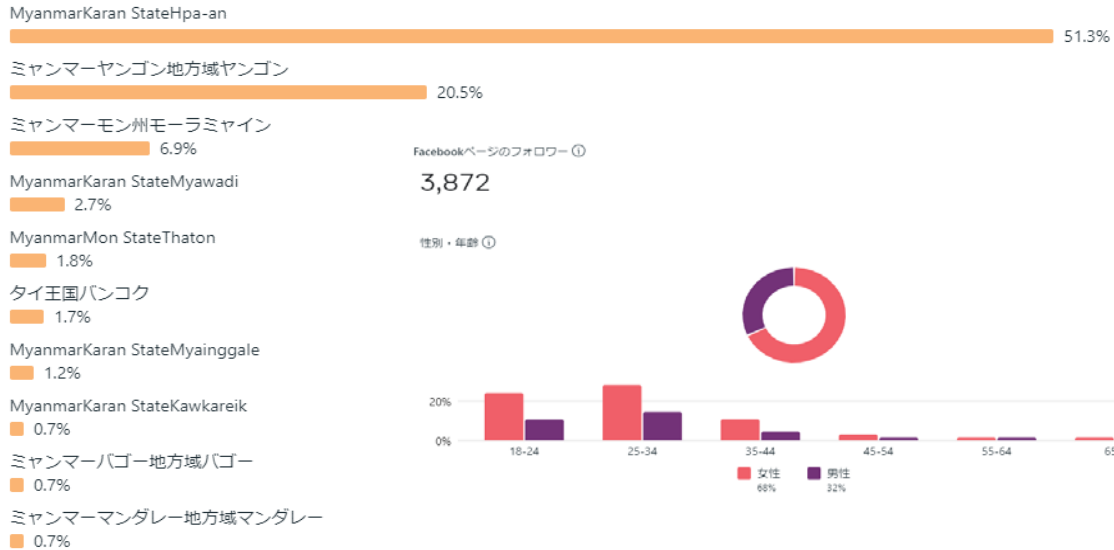
Facebook Pageリーチ：61,731人

Facebook Pageアクセス：3,902人

1-2-3. マーケット開拓活動細評

 <p>Mrs. Karen Coffee & Food 3,552 件のレビュー • 3,872 フォロワー</p>	媒体	Facebook
	ページ名	Mrs. Karen Coffee & Food
	開設	2022/9/14
	対象期間	2022/03/24～2023/03/13
	フォロワー数	3,872

上位の市区町村



Facebookページのリーチ ①



Facebookページへのアクセス ①





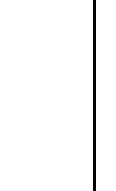





Facebook Pageリーチ：1,195,300人

Facebook Pageアクセス：64,536人

1-2-3. マーケット開拓活動細評

【認知活動】

内容： SNSインフルエンサーによる事業地紹介が行われた

							
Introduction about Hpa-An Agri-food		Introduction about Myawaddy sausage		Introduction about Hpa-An Agri-food		Introduction about Hpa-An Agri-food	

【マーケティングワークショップ】

目的： 市場関係者（流通業者）と生産者（難民帰還者、及び少数民族地域住民）をマッチングさせる機会を提供する。

活動の枠組み： ※市場関係者（流通業者）と生産者（難民帰還者、及び少数民族地域住民）をマッチングさせる機会を提供する。
※ワークショップを通し、生産者は直に市場情報等を得ることで、「今どんな作物を作るべきか、次はどんな作物を作るべき」などの判断が可能になる

【ワークショップ属性】

実施回数： 合計9回

参加者人数： 188名

月	内容	人数	備考
Jun	アボガドの収穫出荷の流れ	18	パアン、ミャワディー、コーカレー郡
Sep	種子収集	19	パプン郡
Sep	緑茶加工	31	タンダウンジー郡
Oct	加工食品（有機ジャム、ハーブ加工、健康食品など）	16	パアン、ミャワディー、コーカレー郡
Nov	加工食品（ハーブ加工）	8	パアン、ミャワディー、コーカレー郡
Mar	コーヒー加工	25	タンダウンジー郡
Mar	茶葉加工	27	タンダウンジー郡
Apr	ぼかし肥料のデモンストレーションワークショップ	24	コーカレー郡
May	森林災害予防のワークショップ	20	パプン郡
Total		188	

2. 社会セーフティーネットの整備活動

2-1. 共助の関係構築細評

2-2. 公助の供給促進活動細評

2-3. 地域間の連携活動細評

2-4. 事業評価活動細評

2. 社会セーフティネットの整備活動

2-1. 共助の関係構築細評







【概要】

目的： 政変の影響で生活困窮者が増えていることから、コミュニティー内での共助関係を構築することで、社会的弱者の社会との断絶を防ぎ、社会的自立を後押しする。

活動内容： 難民帰還民、戦争被災者の生活保護を目的とした農業支援活動を実施

【活動成果】

- ・ タイ国境シェルターで食料自給を目指し、農園を開墾。政情不安により生じた避難中の住民が、支援物資のみに依存しないことを目指し、収穫ターンが短い、青菜野菜・きのこ栽培を推奨した。
- ・ 草刈り機や搾油機等、現地の農業組合に資機材提供を行い、周辺農民に安価で貸し出している。使用料を徴収することで維持管理費を賄っている。
- ・ 財団を設立し、売上からコミュニティーへ利益を還元する仕組みを整備した。ベーカリーをコロナ対応病院に寄付したり、飲料用天然水を学校やクリニック、開催された式典に定期的に寄付したりしている。

		
Mushroom cultivation with IDPs	Initial supply for farming	Raising chicken with war victims
		
Processing machine rental service as community	Purified water donation to Primary school	Purified water donation to Ceremony

2. 社会セーフティーネットの整備活動

2-1. 共助の関係構築細評

◆アンケート

- ・収入手段が乏しい社会的弱者に対し、農畜産業に新たに挑戦する機会を提供し、5段階のスコアリング形式のアンケートを実施
- ・全般、指導内容、指導者スキル、地域間連携、収入向上についての満足度を質問した
- ・アンケート対象者への評価だけでなく、彼らによる事業活動の評価をおこなった
- ・アンケート対象者は、村内コミュニティー（難民帰還民、戦争被災者、退役軍人、少数民族女性等）と連携し、農畜産物の共同生産を実施した参加者39名とする

【サンプル数】 計：39名

【質問内容】

質問分野	質問
Q1.	幣団体の農村開発支援事業について、全体的にどの程度満足しましたか？（生活向上の観点から）
Q2.	農業指導内容（農業支援内容）について、どの程度満足しましたか？
Q3.	指導者（幣団体スタッフ）スキルについて、どの程度満足しましたか？
Q4.	地域間の連携（ネットワーク構築、相互扶助）について、どの程度満足しましたか？
Q5.	幣団体の農村開発支援事業を通しての収入向上について、どの程度満足しましたか？

※質問は5段階評価で実施（評価5：非常に満足、4：満足、3：どちらともいえない、2：不満、1：非常に不満）

【結果】




- ・共同での農業生産物活動参加者の回答を集計した結果、全ての項目で9割以上が満足したと回答した

質問	構成比					満足の割合 （選択肢4～5）
	評価1	評価2	評価3	評価4	評価5	
Q1	0.0%	0.0%	7.7%	38.5%	53.8%	92.3%
Q2	0.0%	2.6%	0.0%	46.2%	51.3%	97.4%
Q3	2.6%	0.0%	2.6%	28.2%	66.7%	94.9%
Q4	0.0%	0.0%	5.1%	33.3%	61.5%	94.9%
Q5	0.0%	0.0%	0.0%	30.8%	69.2%	100.0%

2-2.公助の供給促進活動細評

【作物の試験栽培と農作物の加工】

目的： ミャンマー少数民族地域の実験農場に州政府と連携し、実験作物を送ることで公助実績を作ることで、事業終了後にも行政サービスが実施される関係と枠組みを構築する。

Month	title	Noted information
Jun	有機農産物の生産-キノコ栽培	Myaing Gyi Ngu
Aug	ベチバー(イネ化の植物)-モデルファーム	Hpa-An
Nov	キノコ生産	Hpapun
Dec	養蚕のための桑園	Kawmawkapo
Jan	チーク 苗床	Hpa-An, Hpapun, Kawkareik
		
Mushroom produce facilities (Hpapun)	Mulberry nursery (Kamawkapo)	Teak Nursery (Hpa-An, Kawkareik, Hpapun)

【州政府農業専門家による農業研修細評】

◆研修属性 実施回数： 合計13回
参加者人数： 189名

【活動成果】

州政府・EAOの連携： 本活動のうち一部の研修は少数民族地域で実施された。実施に至っては「Do No Harm」の原則の元、政府と少数民族との協議のもと実施を進めた。

【活動内容】

Month	Participants	title	Noted information
Jun	10	キノコ人工培養技術研修	
Oct	14	キノコ人工培養技術研修	
Oct	28	種子保護研修	
Nov	26	食品加工研修	
Nov	9	ベーカリーフォローアップ研修	
Nov	8	養蚕研修	
Dec	4	コーヒー生産フォローアップ研修（栽培-収穫-精製-焙煎）	
Jan	18	コーヒー生産フォローアップ研修（栽培-収穫-精製-焙煎）	
Jan	22	ぼかし有機肥料製造研修	
Feb	23	森林保護	
Feb	12	加工食品	
Feb	6	ベーカリーフォローアップ研修	
Apr	9	マーケティング戦略策定ワークショップ	
May	29	発酵食品ワークショップ	

Total	218		
-------	-----	--	--

【州政府農業専門家による農業研修細評】

写真		
		
キノコ人工培養技術研修	種子保護研修	食品加工研修
		
ペーカリーフォローアップ研修	養蚕研修	コーヒー生産フォローアップ研修
		
コーヒー生産フォローアップ研修	ぼかし有機肥料製造研修	森林保護
		
加工食品	ペーカリーフォローアップ研修	発酵食品ワークショップ

2-3. 地域間の連携活動細評













【概要】

目的： 本事業で農業技術を普及している地域では、住民は個別にマーケットにアクセスできず、また十分な販売知識を有さない場合が多い。そこで情報交換や作物の共同販売等、地域間で連携することで農作物を市場に供給できる共助のネットワークを整備する。

活動内容： 地域間で情報交換や作物の共同販売等で連携し、生産物を市場に供給できるネットワークの整備を行った。また農業協同団体を組織し、マーケット開拓や地域コミュニティへの利益の還元をおこなうことで、広く事業成果を展開する仕組み整備を行った。

内容	詳細		
地域の農業生産物を集めての展示会への参加	パアン市内でのカレン州立記念日イベントへの出店（11/8～13）		
	パアン市内でのカレン新年イベントへの出店（12/22～23）		
	パアン市内での国際女性デーのイベントへの出店（3/8）		
	ヤンゴン市内でのミャンマー連邦記念日イベントへの出店（2/12）		
	ネピドー市内での独立記念日イベントへの出店（1/3～8）		
地域間勉強会、スタディーツアー	カレン州内の女性団体をパアンの事業地にて受入れ、勉強会を実施		
	緑茶葉加工の工場へスタディーツアーを実施		
	マンダレーにある食肉加工の工場へスタディーツアーを実施		
地域間でのマーケット融通や販売場所の提供、商品の共同開発	各地からの農業生産物の販売場所をパアン事業地にて提供		
	州農業畜産灌漑省と連携し、コーヒー豆の輸出		
	ミャワディーの食肉加工とパアンのベーカリーでハンバーガーの共同開発		
地域住民の組織化	Kawkareikにて財団を組織し、医療施設や教育施設への寄付を進めている		
	Thandaung Gyiにて農業組合を設立し、海外への輸出機会を提供している		
	Hpapunで農業組合を設立し、こんにゃく芋の仲介業者との価格交渉を進めた		
			
Exhibition booth in Karen State day	Exhibition booth in Karen new year	Booth on International woman day	
			
Exhibition in Union day @ YGN	Join the exhibition booth in Independence day @ NPT	Coordination for site survey by Woman group	

2-3. 地域間の連携活動細評

		
Study tour for Tea Factory	Study tour for Mandalay Sausage factory	Study tour for agro-forestry
		
Arrange the sale place for Can product	Arrange the sale place for Food product	Arrangement of coffee export for local farmers
		
Collaborated product (Hamburger)	Purified water donation to Primary school	Purified water donation to EAOs ceremony
		
Scouting the coffee cluster members @ TDG	Group discussion for brand launch @ TDG	Rental oil extract machine @ Hpapun

2-4.事業評価活動細評

【活動概要】

- 本事業の進捗や成果を関係団体と共有することで、事業の運営についての州政府・EAOからの事業運営の評価を確認する。特に、本事業はクーデター下における少数民族地域での事業という位置付けから、国連が定める「Do No Harm」の原則のもと、可能な範囲での事業の透明化と意思疎通を進めることで、安全な事業運営を進める
- 活動： 四半期に一度開催したWorking Group Meetingと、関係各所との個別ミーティングを行うことで、コンセンサスと意思確認を行った
- 総括： クーデター後の軍による統治下で、事業の透明化を可能な範囲で進め、ミャンマー国内ではミャンマー軍政・及び軍政と関係が良好なEAO（KPC）と良好な関係を築きつつ、タイ側ミャンマー国境にて民主化派グループや軍政と衝突しているEAO勢力との対話も進めており、両側との関係を維持することができた。
- 主な成果：
- ・連邦国家行政評議会メンバーのYar Pyae国軍中將から事業に対して一定の評価を受け、直接説明の機会を作るよう連絡を受けた（カレン州の戦闘悪化により中止）
 - ・上記により、州首相と州国境大臣からの推薦を受け、国境大臣署名の推薦レターの発行を受けた
 - ・KPCの幹事長から信頼を受け、KPC地域の地域開発計画の策定に意見を求められた。
 - ・カレン州政府主催のイベントに招待されることが多く、州評議会首相や国境大臣と個別面談を受ける機会が増えた
 - ・タイ側でEAOと意見交換を行うことが多く、事業内で見えない範囲でEAOとの連携を繰り返すことができ、関係強化が叶っている

成果写真



【活動成果】

HKK: Htu Koh Kue Committee, HWP: Hti War Plaw Committee

DoA: Department of Agriculture, Kayin state, KAD: Karen Agriculture Department

STL: In charge of Satellite project site

番号	会議	評価者/会議参加者	内容	備考	実施日
1	個別事業評価会議	Union-MoALI, GMC	既事業の年次活動報告の詳細説明と追加資料の提出		3/16
2	第1四半期WG会議	HKK, HWP, KPC, DoA, KAD, GMC	1年間の事業総括と成果、本年度の内容説明	Onlineにて実施	3/23
3	KPC幹事長とのミーティング	KPC, GMC	1年間の事業総括と成果、本年度の内容説明	Onlineにて実施	3/25

2-4.事業評価活動細評

4		SAC member (Yar Pyae国軍中将), KPC幹事長	本事業のうち、KPC地域での活動と成果について情報共有	詳細な情報を後日中将にプレゼンをして欲しい旨連絡を受けた。(後日カレン州の少数民族地域の衝突悪化により中止)	3/27
5	合同事業評価会議	HKK, HWP, STL, GMC	1年間の事業総括と成果、本年度の内容説明	Onlineにて実施	3/30
6	個別事業評価会議	州国境大臣, GMC	1年間の事業総括と成果の報告、上述4のYar Pyae国軍中将からのリクエスト内容の共有		4/22
7	個別事業評価会議 写真②	州評議会首相, GMC	1年間の事業総括と成果の報告、上述4のYar Pyae国軍中将からのリクエスト内容の共有		4/22
8	個別事業評価会議	州国境大臣, KPC, GMC	Yar Pyae国軍中将からのリクエストに対しての協議	州国境大臣から本事業の推薦レターを頂戴した	5/11
9	個別事業評価会議	連邦政府省 Director General, GMC	Yar Pyae国軍中将からのリクエストに対しての状況説明	州国境大臣からの推薦レターとKPC幹事長からの協力要請レターを提出	5/17
10		SAC member (Mya Tun Oo国軍大将), KPC幹事長	KPCの少数民族地域での開発方針についての協議	協議内で、本事業を含めた活動方針と州政府からの推薦について説明	5/23
11	第2四半期WG会議	HKK, HWP, KPC, DoA, KAD, GMC	第1四半期の事業総括と成果、第2四半期の計画共有	Onlineにて実施	6/27
12	個別事業評価会議	NMSP (モン系EAO) , GMC	モン州の治安状況の情報交換		7/16
13	個別事業評価会議 写真③	KPC, GMC	KPC地域の治安情報交換、事業進捗と計画について意見交換		7/17
14	個別事業評価会議 写真④	KNU, GMC	KNU地域の治安情報交換、州内避難民の現状について意見交換		7/17, 22
15	個別事業評価会議	KNPP議長, GMC	KNPP地域の治安情報交換、州内避難民の現状について意見交換		7/18
16	個別事業評価会議	KNU中央執行委員 JS(1), GMC	これまでの事業成果と進捗を報告		8/12
17	個別事業評価会議	NMSP (モン系EAO) , GMC	これまでのカレン州での事業成果を報告。モン州でのニーズ調査を確認		9/6
18	個別事業評価会議 写真⑤	TNF, GMC	チェンマイ事務所にて、事業進捗や今後の見通し、治安情報等の情報交換		9/20
19	第3四半期WG会議	HKK, HWP, KPC, DoA, KAD, GMC	第2四半期の事業総括と成果、第3四半期の計画共有	Onlineにて実施	9/26
20	合同事業評価会議	HKK, HWP, DoA, STL, GMC	事業の中間評価会議を実施。これまでの課題と今後の計画についての意見交換、治安情報の報告		10/17
21	総理官邸での報告 写真①	岸田首相、木原副官房長官、GMC	少数民族人道支援、及び遺骨収集事業の課題について報告		11/2
22	個別事業評価会議	州国境大臣, GMC	事業中間報告を実施		11/8
23	個別事業評価会議	州評議会議長, GMC	事業中間報告を実施		11/8

2-4.事業評価活動細評

24	個別事業評価会議	KPC, GMC	事業中間報告を実施	Onlineにて実施	11/30
25	個別事業評価会議	KPC経済部長, GMC	次期事業の計画案について意見交換	Onlineにて実施	12/9
26	個別事業評価会議	NMSP (モン系 EAO) , GMC	次期事業についてのFSを実施		12/11,12
27	第4四半期WG会議 写真⑥	HKK, HWP, KPC, GMC	第3四半期の事業総括と成果、第4四半期の計画共有		12/18
28	個別事業評価会議	州国境大臣, GMC	カレン新年式典にて、事業進捗を報告		12/22
29	個別事業評価会議	州評議会議長, GMC	カレン新年式典にて、事業進捗を報告		12/22
30	個別事業評価会議	KPC幹事長, GMC	KPC創立記念日にて、次期事業の計画案について意見交換		2/11
31	経済カンファレンス 写真⑥	Myawaddy市開発 委員会, GMC	Myawaddy市内の経済特区にかかる意見交換会に招待を受けた	本会の意見は連邦国家行政評議会議長に提言にされる	3/16
	第5四半期WG会議	HKK, HWP, KPC, GMC	第4四半期の事業総括と成果、事業終了までの計画共有		3/30

カウンターパート事業評価

カウンターパートによる事業評価

Evaluation time	2023 April				
Counter Part	Htu Koh Kue Committee (HKK)			3	8ppl
	Satellite site (STL): Hpa-An, Kawkareik, Myawaddy, Thandaung Gyi, Hpapun			5	

評価手法:

JICAの中間評価手法に則り、実績の確認と実施プロセスの把握にDAC評価項目を加えた中間評価を行う。ここでDAC評価とは経済協力開発機構（OECD）の開発援助委員会（DAC）が提唱する、開発援助事業の評価基準であり、5項目(妥当性、有効性、効率性、インパクト、自立発展性)での評価を行うものである。

【実施プロセスの評価】

※質問は5段階評価で実施（評価5：良い、3：普通、1:悪い）

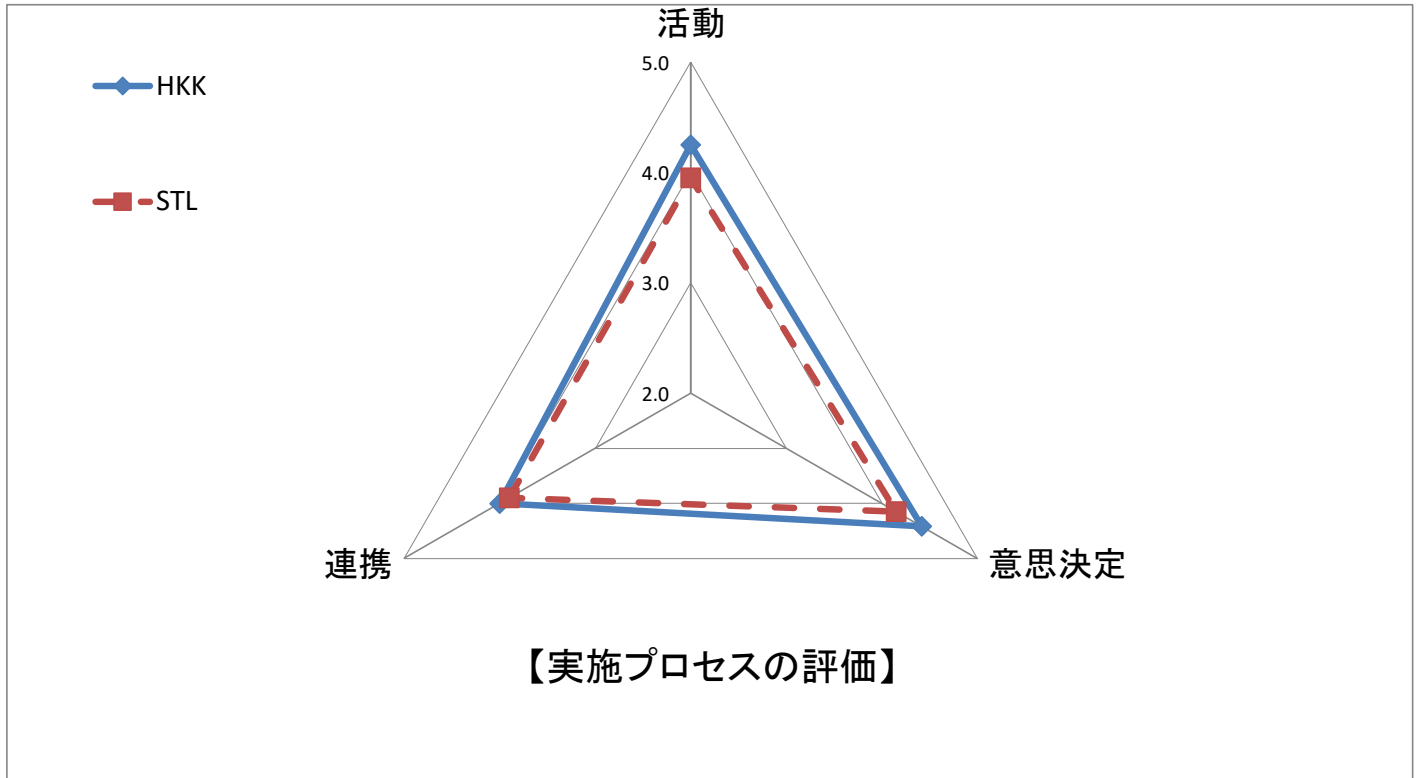
Q	質問内容	HKK	STL			Ave.
活動について						
1	活動は計画通り（当初の協議での方向性）に進んでいるか	4.0	3.8			3.9
2	幣団体の活動に対する認識はあるか（何をしようとしているかなど）	5.0	4.2			4.5
3	幣団体の活動に積極的に参加しているか	4.0	3.6			3.8
4	幣団体の活動内容について、十分な報告を受けているか	4.0	4.2			4.1
意思決定について						
5	活動における、意思決定のプロセス（関係者の選定や手段、進め方）は適当か	4.7	4.4			4.5
6	意思決定の際、発言（希望や意見）の機会を持つことができるか	4.7	4.2			4.4
7	その発言（希望や意見）は事業に反映されているか	4.0	4.0			4.0
8	意思決定後のコンセンサス（共通認識）は十分取れているか	4.3	4.0			4.1
連携について						
9	組織間や地域住民との連携の仕組みは十分だと思うか	4.7	4.0			4.3
10	農業センター/モデル農場と対象地域コミュニティの連携は十分だと思うか	4.0	3.6			3.8
11	農業センター/モデル農場とその連携は十分だと思うか	4.0	3.8			3.9
12	農業センター/モデル農場とGMCチェンマイ本部の連携は十分だと思うか	4.3	4.0			4.1
13	農業センター/モデル農場と他の事業地との連携は十分だと思うか	3.7	3.8			3.8
14	ローカルスタッフの配置（人数、場所）は適当か	3.3	4.2			3.9

カウンターパート事業評価

【実施プロセスの評価】グラフ

※質問は5段階評価で実施（評価5：良い、3：普通、1：悪い）

	HKK	STL			Ave.
活動	4.3	4.0			4.1
意思決定	4.4	4.2			4.3
連携	4.0	3.9			3.9



記述式質問：実施プロセスについて、満足している点、改善すべき点、やめるべき点

- Although everyone has different views, we can find solution through coordination. Success can be achieved through hard work. Although political instability We are pleased that the GMC has been able to assist.
- I hope that the operations will improve more than before. Hopefully we have enough advice when making decisions and the cooperation will be further improved.
- I am satisfied that We and GMC have been working together to develop the region, and the socio - economic life has improved more than before. We hope that if we continue to work together, we will develop as far as we can.
- I am satisfied. The more we can do, the better.
- Our operations are on schedule as originally consulted. I know that GMC is trying to promote local development and social life. We are actively participating
- No opinion yet
- I am pleased with their improvement that are supported by the GMC for value added products, organic products and regional products
- I hope that the operations will improve more than before. Hopefully we have enough advice when making decisions and the cooperation will be further improved.

カウンターパート事業評価

【DAC評価】

①妥当性

※質問は5段階評価で実施（評価5：良い、3：普通、1:悪い）

必要性		4.3	4.2			4.3
15	本プロジェクトは地域のニーズに合致しているか	4.7	4.6			4.6
16	本プロジェクトの実施計画を作る際、十分な情報交換が行われたか	4.0	3.8			3.9
手段としての適切性		4.1	3.9			4.0
17	本事業の実施方法は適切であったか	4.3	4.2			4.3
18	本事業を実施するタイミングは適切であったか	4.0	3.6			3.8
19	本事業は他ドナーによる事業と協調性があるか	4.0	3.4			3.6
20	対象地域の選定は適切であったか	5.0	4.0			4.4
21	対象地域以外への波及効果はあったか	3.7	4.4			4.1
22	日本やタイの技術の優位性があったか（日本やタイだからこそできたこと等）	3.3	4.0			3.8

②有効性

※質問は5段階評価で実施（評価5：良い、3：普通、1:悪い）

プロジェクト内容		3.8	3.9			3.8
23	活動の内容は満足できるものであったか	4.0	3.8			3.9
24	活動への参加人数は十分であったか	4.0	3.8			3.9
25	活動（研修やモデル農業）の期間は十分であったか	4.0	3.8			3.9
26	フォローアップ体制は十分か	3.0	4.0			3.6
プロジェクト結果の展開		4.0	3.8			3.9
27	指導した農業技術は地域で活用できるか	4.0	4.0			4.0
28	研修施設は地域の発展に有益に活用されているか	4.0	3.6			3.8
29	研修生/活動参加者は活動で培った技術を利用しているか	4.0	3.8			3.9

カウンターパート事業評価

③効率性

※質問は5段階評価で実施（評価5：良い、3：普通、1:悪い）

プロジェクトの効率		3.9	3.9			3.9
30	専門家の人数、専門分野は適切であったか	3.3	3.8			3.6
31	供与資機材の種類や量は適切であったか	4.7	4.2			4.4
32	建物、施設の質や規模、利便性は満足のいくものか	4.0	3.8			3.9
33	他の類似プロジェクトと比較して、本事業の投入内容から生まれた実績や成果はどうか	3.7	3.8			3.8

④インパクト

※質問は5段階評価で実施（評価5：良い、3：普通、1:悪い）

プロジェクトの発展		4.0	3.9			4.0
34	事業で、地域発展の考え（発展の可能性や人々の意識）に変化があったか	4.0	4.2			4.1
35	GMCの活動への参加を希望する人は増加したか	4.0	3.6			3.8
36	その他の地域で類似の活動を行う考え（可能性）はあるか	4.0	4.2			4.1
37	プロジェクト実施の他の地域との協調する考え（可能性）はあるか	4.0	3.8			3.9
38	将来政府機関/少数民族団体と協調する考え（可能性）はあるか	4.0	3.8			3.9

⑤自立発展性

※質問は5段階評価で実施（評価5：良い、3：普通、1:悪い）

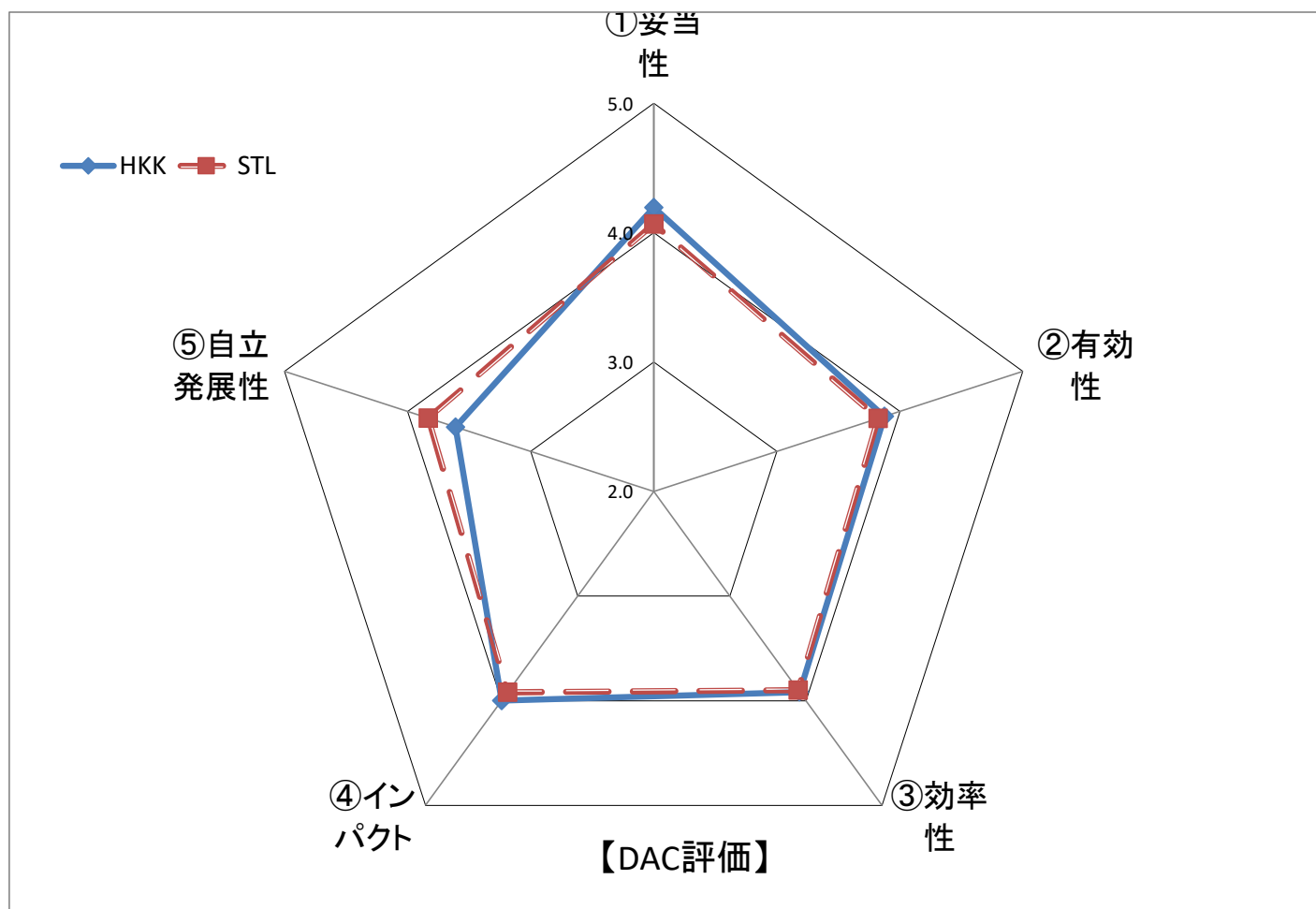
事業終了後の展開に向けて		3.6	3.8			3.8
39	事業終了後の方針について、意見交換を十分に行っているか	4.0	4.2			4.1
40	事業終了後、自立して事業を継続する人材の能力開発ができたか	3.3	3.6			3.5
41	事業終了後、自立して事業を継続する資金が確保できるか	3.0	3.8			3.5
42	事業終了後、自立して事業を継続する資金を生む仕組みは整備できているか	4.0	3.4			3.6
43	事業終了後、継続して事業効果を普及する仕組みは整備できているか	3.7	3.8			3.8
44	事業終了後、事業効果を普及する仕組みの維持は可能か	3.7	4.2			4.0

カウンターパート事業評価

【DAC評価】グラフ

※質問は5段階評価で実施（評価5：良い、3：普通、1：悪い）

	HKK	STL			Ave.
①妥当性	4.2	4.1			4.1
②有効性	3.9	3.8			3.8
③効率性	3.9	3.9			3.9
④インパクト	4.0	3.9			4.0
⑤自立発展性	3.6	3.8			3.8



カウンターパート事業評価

記述式質問：①妥当性の評価を行った理由

- We would like to have Japanese/Thai Technology in HKK. We want to give priority to a new Livestock-Agricultural business plan that is sustainable and beneficial to the environment and socio- economis.
- We would like to have Japanese/Thai Technology in HKK. GMC's support is needed to make agriculture and livestock businesses successful in HKK.
- Technical support is still needed. It is necessary to provide the technology to improve the operations of the project.
- I would like to do more work on specific project sites.
- The technology of Japan and Thailand is Stronger.
- The technology of Japan and Thailand is Stronger.
- The cooperation with GMC in our ThanDaung and Leiktho region has only been able for a few years. Therefore, trainings, workshops and technical support are needed
- We would like to have Japanese/Thai Technology. GMC's support is needed to make agriculture and livestock businesses successful.

記述式質問：②有効性の評価を行った理由

- Since the project came to HKK after the arrival of Covid-19, the training has not yet been conducted. If the opportunity arises, We wish like that GMC would like to arrange the courses.
- GMC has not been able to conduct training in HKK yet. (due to Covid - 19 and vaticous other reasons)
- The training has not yet been conducted in HKK.
- Training and follow-up are effective.
- The techniques that GMC provides are useful for regional development and local youth.
- The techniques that GMC provides are useful.
- Supplied by GMC are effective for Thandaung Gyi region. However,there is a need for knowledge sharing programs that can effectively spend time disscussing with the local people. Because this period is the political conflict of the local people,because

カウンターパート事業評価

記述式質問：③効率性の評価を行った理由

- If we get more agricultural accessories, we can run the farming faster.
- We are pleased that the equipment provided is regionally appropriate. Thanks to GMC's support, the success achieved has improved dramatically.
- As the equipments and materails provided by GMC are truly needed and usable for the region. It has a lot of impact on the local people.
- Materials supplied by GMC are regional compatible.
- The types and quantities of equipment provided by GMC are convenient. This work is facilitated by GMC' support. Due to encouragement of the GMC, advertising posts were posted and sales increased.
- The types and quantities of equipment provided by GMC are convenient.
- Training and equipment provided by GMC in our region has many benefits. However, our region is suffering from war and is in need of more support due to the ongoing war.
- We are pleased that the equipment provided is regionally appropriate. Thanks to GMC's support, the success achieved has improved dramatically.

記述式質問：④インパクトの評価を行った理由

- We must cooperate with any government in Myanmar. But it depends on the government policy. There is another area that needs helps, but there is a security problem.
- Through this project, ideas and suggestions for community development are available. We must cooperate with any government in Myanmar.
- Through this project, ideas and suggestions for community development are available. If GMC organizes training (or) discussion for community development, we hope that there will be interested people. We must cooperate with any government
- I would like to do more agricultural training in the region.
- I think that if similar training can be arranged in other areas, the lives of local people will improve. If necessary, I can cooperate in other working areas.
- Different types of training and techniques are required.
- We especially want to improve capacity in nearly areas that need development in addition to our own region. We hope to cooperate with any organization.
- Through this project, ideas and suggestions for community development are available. We must cooperate with any government in Myanmar.

3. 広域地域開発活動

3-1. 現地団体との連携活動細評

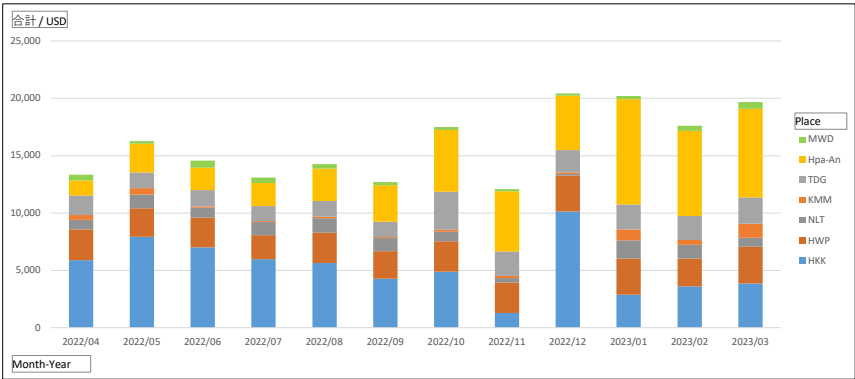
3-2. ミャンマー当局や民間企業との連携細評

3-1. 現地団体との連携活動細評

【概要】 目的： 農業普及員と共に少数民族地域末端である僻地の村々にて開発活動を実施する
活動の枠組み： 少数民族地域で活動する現地団体と連携し、農畜産による開発活動を実施する。活動については、生産、加工、畜産、市場開拓と多岐にわたり、実施する。また効果的に開発を進めるために、マーケット情報や技術の地域間共有をおこない、弊団体も政府や民間企業の連携を引き込むことで持続的な活動の仕組み作りを行う

【活動成果】 現地団体との共同事業により、コミュニティーの収入が向上。対前期比48.3%

販売データ総括



Date: Mar. 2023
事業実施期間の販売実績

Site by Site

合計 / USD	列ラベル							
Month	HKK	HWP	NLT	KMM	TDG	Hpa-An	MWD	Total
2022/04	5,897	2,669	829	444	1,675	1,321	492	13,328
2022/05	7,921	2,504	1,176	556	1,371	2,507	242	16,277
2022/06	6,997	2,598	882	97	1,434	1,939	617	14,564
2022/07	5,983	2,098	1,124	89	1,306	2,006	472	13,077
2022/08	5,641	2,651	1,261	139	1,357	2,831	388	14,268
2022/09	4,282	2,400	1,145	72	1,333	3,178	279	12,688
2022/10	4,895	2,645	824	167	3,329	5,389	253	17,502
2022/11	1,294	2,647	385	194	2,124	5,257	194	12,097
2022/12	10,136	3,112	148	128	1,971	4,731	188	20,414
2023/01	2,893	3,128	1,591	961	2,181	9,157	278	20,190
2023/02	3,607	2,437	1,202	392	2,109	7,407	444	17,598
2023/03	3,864	3,204	782	1,217	2,282	7,739	597	19,684
Total	63,410	32,094	11,351	4,456	22,472	53,462	4,443	191,687
今期の収入平均	5,284	2,674	946	371	1,873	4,455	370	15,974

Month-Year (複数のアイテム)

	列ラベル							
	HKK	HWP	NLT	KMM	TDG	Hpa-An	MWD	Total
合計 / USD	60,360	21,641	20,725	5,188	38,953	11,668	3,005	161,539
昨期の収入平均	4,024	1,443	1,382	346	2,597	778	200	10,769

増減	31.3%	85.4%	-31.5%	7.4%	-27.9%	472.8%	84.8%	48.3%
----	-------	-------	--------	------	--------	--------	-------	-------

Product	合計 / USD
Purified Water	58,928
Mrs. Karen Coffee Shop	22,852
Rice	21,469
Chicken(egg)	18,230
Coffee	13,275
Vegetable product	12,561
Egg	10,400
Mushroom	5,272
Meat product	4,443
Mobile Shop	4,038
Honey	3,567
Bakery	2,698
Rental Fee	2,264
Betel Nut	2,036
Can Product	1,971
Bokashi	1,707
Fresh Vegetables	1,387
Konjac	1,111
Fruit	845
Turmeric	612
Edible oil	540
WONK Booth Sales	527
Betal Nut	222
Soap	177
Cardamon	139
Sesame oil	119
Coffee Shop	111
Soup	106
Jam	83
Total	191,687

3-1. 現地団体との連携活動細評

【アンケート集計結果】農業普及員による農業普及活動

1)基本データ

1-1)性別

行ラベル	個数 / No	Percentage
Male	19	63%
Female	11	37%
総計	30	

1-2)年齢

行ラベル	個数 / No	Percentage
20-29	7	23%
30-39	8	27%
40-49	5	17%
50-59	8	27%
60-69	2	7%
総計	30	

1-3)職業

行ラベル	個数 / No	Percentage
Farmer	9	30%
Employee	9	30%
Head of Household	5	17%
Self employed	5	17%
No Job	2	7%
総計	30	

1-4)地区

行ラベル	個数 / No	Percentage
HtuKohKue	5	17%
Hpa-an	5	17%
Ka Ma Maung	5	17%
Myawaddy	5	17%
Thandaung Gyi	5	17%
ZarThaPyin	5	17%
総計	30	

1-5)月収(チャット)

行ラベル	個数 / No	Percentage
1～50,000	2	7%
50,001～100,000	4	13%
100,001～200,000	21	70%
200,001～	3	10%
総計	30	

【アンケート集計結果】農業普及員による農業普及活動

2) アンケート結果

2-1) 幣団体の農村開発支援事業について、全体的にどの程度満足しましたか？(生活向上の観点から)

行ラベル	個数 / No	Percentage	
3	1	3%	
4	25	83%	実績
5	4	13%	96.7%
総計	30		

2-2) 農業指導内容(農業支援内容)について、どの程度満足しましたか？

行ラベル	個数 / No	Percentage	
2	1	3%	
3	6	20%	
4	17	57%	実績
5	6	20%	76.7%
総計	30		

2-3) 指導者(幣団体スタッフ)スキルについて、どの程度満足しましたか？

行ラベル	個数 / No	Percentage	
3	1	3%	
4	25	83%	実績
5	4	13%	96.7%
総計	30		

2-4) 地域間の連携(ネットワーク構築、相互扶助)について、どの程度満足しましたか？

行ラベル	個数 / No	Percentage	
3	1	3%	
4	26	87%	実績
5	3	10%	96.7%
総計	30		

2-5) 幣団体の農村開発支援事業を通しての収入向上について、どの程度満足しましたか？

行ラベル	個数 / No	Percentage	
3	4	13%	
4	22	73%	実績
5	4	13%	86.7%
総計	30		

Quarterly activity report

※ Submit once a quarter

Htu Koh Kue - Purified water

Township	Item	2Q (Mar 2022 - May 2022)	
		Plan	Actual
Kaw Kareik HtoeKoKue	Producing/ Processing	About 240,000 liters of water will be produced. * After pipeline repairing PD water production will increase production amount to 100,000 liters.	* Produced 57,000 liters of water in March. FDA submission will be finished in the last week of March. The water factory was paused from 4.3.200 to 12.3.2022 due to infection covid-19 in the factory workers. * Produced 80,000 liters of water in April. * In May, produced 100,000 liters of water. After FDA submission, FDA office requested to re-submit the water factory layout. Therefore, PD water was prepared to re-drawing the water factory layout format as a draft to submit to FDA. After that, they will renovate the water factory with the guidelines from FDA to get FDA recommendations, plus add one more purified water machine as Sir Yuki mentioned. They can start the process in July.
	Marketing	To distribute 20 liter, 1 liter, 0.6 liter, and 0.3 liter water bottles to the 14 places in Kaw Ka Reik Tsp and 1 place in Hlaing Bwe Tsp. Plan to expand the market to Hpa-An City and Myawaddy City, if we received FDA recommendation in the second quarter.	* In March, 20L, 1L and 0.6L water bottles were distributed to 14 places in KKR Tsp and 1 place in Hlaing Bwe Tsp. Hopefully, FDA recommendations can be received around July. After that, plan to expand our market with door to door marketing system in Karen State. * In April, Lin Mingalar Gas station for KKR and Ice Factory from Hlaing Bwe Tsp canceled the order due to the general commodity price raise. Total of 13 distribution places in April. The water production business is in good shape. * In May, 20L, 1L and 0.6L water bottles were distributed to 13 places in KKR Tsp.
	Expected outcome/ Goal and result	Water bottles will be available at key village grocery stores in the villages due to direct delivery service, so our product will be available at any time and demand will increase. The water quality is good and healthy, so the consumer can drink it safely. Purified water bottles will be available for those fourteens villages which haven't accessible to drink	* In March, produced 57,000 liters of water. Distributed PDpurified drinking water to 14 places in KKR Tsp and 1 place in Hlaing Bwe Tsp. Total of 15 places was distributed in February. * Donated fresh and safe water to school, monastery, church, clinic, security gates from PC headquarter, and quarantine center from Naw Ta Yar. * In April, produced 80,000 liters of water. Total of 13 places was distributed in April. Donated fresh and safe water to schools, monasteries, churches, clinics, security gates from PC headquarter and quarantine center from Naw Ta Yar. * In May, produced 100,000 liters of water. Distributed PDpurified drinking water to 13 places in KKR Tsp. Donated fresh and safe water to schools, monasteries, churches, clinics, security gates from PC headquarter and quarantine center from Naw Ta Yar.
	Possible (Actual) Challenges/Difficulties/Fails	Expected the political situation will be in good shape. Door to door marketing to get market share in Hpa-An City and Myawaddy City. Expected to get more market share due to FDA recommendation.	* In March, empty bottles and plastic for packing prices were still raised. Plus gas price was rising unexpectedly. * Delays in the distribution of purified drinking water due to political instability. * In April, empty bottles and plastic for packing and gas prices were still raised. This month, commodity prices are higher than in the previous month. Delays in the distribution of purified drinking water due to political instability. In May, due to high gas prices, the required kinds of stuff for water production like empty bottles and plastic for packaging prices were still raised too. This month, PD water distribution faced difficulties to distribute water to some villages, because some roads were damaged by heavy rain.
	Request by GMC		

Quarterly activity report

※ Submit once a quarter

Htu Koh Kue - Purified water

Township	Item	3Q (June 2022 - Aug 2022)	
		Plan	Actual
Kaw Kareik HtoeKoKue	Producing/ Processing	About 300,000 liters of water will be produced.	In June, produced 100,000 liters of water. The draft factory layout plan submission will be finished next week. After getting pre-approval from the FDA, will invite a technician from the water machine supplier to check up on the new water factory for setting up the pipeline, machines placing place, etc. After that, we will start the renovation in the new water factory to move the machines from the old factory and to add new machines. In July, produced 90,000 liters of water. PD purified water production plan to invite technicians from the water machine supplier in August after receiving the renovation budget for the new water factory. * In August, produced 85,000 liters of water. The new water factory renovation will start after receiving the September budget. We will push to finish the construction process within September to be ready to add a new machine and installation process in October. Due to high commodity prices, we have to increase 30,000 mmk for the driver's salary in August. Also will increase 30,000 mmk salary for each worker from the water factory in September.
	Marketing	To distribute 20-liters, 1 liter, 0.6-liter, and 0.3-liter water bottles to 15 places in Kaw Ka Reik Tsp. After receiving FDA recommendations, the water distribution market will expand to Kyone Doe and Hpa-An city. *After FDA, PD purified drinking water production will start doing business with WONK for 0.6 liter and 1liter water bottles distributed in Hpa-An.	In June, 20L, 1L, and 0.6L water bottles were distributed to 12 places in KKR Tsp. Due to raining and bad road situation, we temporarily cancel 1 place to distribute water in June. In July, 1L, and 0.6L water bottles were distributed to 13 places in KKR Tsp. * In August, we distributed our water to 13 places in KKR Tsp.
	Expected outcome/ Goal and result	Plan to produce 300,000 liters of water Plan to increase distribution to 15 places in KKR Tsp. After receiving FDA recommendations, 1-liter and 0.6-liter water bottles will be distributed to the local shops in Kyone Doe and Hpa-An city.	In June, produced 100,000 liters of water. 12 places with very little access to getting purified drinking water, now can access fresh and safe water. Donated fresh and safe water to schools, monastery, church, clinic, security gates from PC headquarters, and quarantine centers from Naw Ta Yar. In July, produced 90,000 liters of water. in 13 places with very little access to getting purified drinking water, now can access fresh and safe water. Donated fresh and safe water to schools, monastery, church, clinic, security gates from PC headquarters, and quarantine centers from Naw Ta Yar. * In August, produced 85,000 liters of water. 13 places with very little access to getting purified drinking water, now can access fresh and safe water. Donated fresh and safe water to schools, monastery, church, clinic, security gates from PC headquarters, and quarantine centers from Naw Ta Yar.
	Possible (Actual) Challenges/Difficulties/Fails	Due to the rainy season, there will be road damaged problems. Potential damage can happen to water resources and it will be necessary to prepare enough water for drinking water production.	In June, gas prices and the required kinds of stuff for water production like empty bottles and plastic for packaging prices were still raised. This month, PD water distribution faced difficulties to distribute water to 1 place, because some roads were damaged by heavy rain. In July, gas prices and the stuff for water production like empty bottles and plastic for packaging prices were still raised. Ensuring that water quality and packaging quality are not compromised in order to penetrate the market despite market competition. The donated water bottles to hospitals and clinics need to be separated and done systematic cleaning. * In August, empty water bottles, plastic for packing, and gas prices are very high. Due to heavy rain, most of the roads are very damaged we faced delays in water distribution.
	Request by GMC		

Quarterly activity report

※ Submit once a quarter

Htu Koh Kue - Purified water

Township	Item	4Q (Sep 2022 - Nov 2022)	
		Plan	Actual
Kaw Kareik HtoeKoKue	Producing/Processing	<p>About 240,000 liters of water will be produced.</p> <p>* With the current water machine, in September, October, and November, about 260,000 liters of water will be produced. After the installation of the new water purifier is completed, production will increase. After we received the FDA recommendation the water bottle labels have to change from paper sticker version to plastic label version with FDA recommendation number on it.</p>	<p>* In September, produced 60,000 liters of water. The new water factory renovation will be finished on October 7. After the new water machine installation and factory setup are completed we will start to apply the FDA recommendation. Depending on the Government site documents checking and inspection the FDA recommendation process will take 1 month to 3 months.</p> <p>* In October, produced 70,000 liters of water. The new water factory is ready to install the new machine and the old machines. After installation, we plan to increase more production amount. We hope the factory setup is fully finished around the end of November. After that, FDA process will start. The new water machine will arrive with Banyar on 31 Oct, according to the information from Banyar.</p> <p>* In November, produced 5840 liters of water. The new water factory was fully running and back in production. The entrance main door and machine room door are not finished yet. We will be finished at the end of November and the second time painting will continue. After fully finished we will start to apply FDA application in December.</p>
	Marketing	<p>To distribute 20 liters, 1 liter, 0.6 liter, and 0.3-liter water bottles to the grocery stores and homes from 13 villages in Kaw Ka Reik Tsp and Hpa-An City, and Myawaddy City.</p> <p>* After we received the FDA recommendation, we will start to distribute 1 liter and 0.6-liter water bottles to Hpa-An and Myawaddy City's local shops, hotels, and restaurants, including WONK cafe.</p>	<p>* In September, 20L, 1L, and 0.6L water bottles were distributed to 12 places in KKR Tsp. Due to raining and a bad road situation, we temporarily cancel 1 place to distribute water.</p> <p>* In October, we do a special delivery service to the donation ceremonies that order water from us. 20L, 1L, and 0.6L water bottles were distributed to 12 places in KKR Tsp. Due to rain and a bad road situation, we temporarily cancel 1 place to distribute water.</p> <p>* In November, due to the new factory setup, old and new machine installation, and other many stages we can only distribute water to 3 places in KKR Tsp.</p>
	Expected outcome/ Goal and result	<p>Water bottles will be available at key village grocery stores in the villages due to direct delivery service, so our product will be available at any time and demand will increase.</p> <p>The water quality is good and healthy, so the consumer can drink it safely.</p> <p>Purified water bottles will be available for those fourteens villages which haven't accessible to drink</p>	<p>* In September, produced 60,000 liters of water, 12 places with very little access to getting purified drinking water, now can access fresh and safe water. Donated fresh and safe water to schools, monastery, church, clinic and security gates from PC headquarter.</p> <p>* In October, produced 70,000 liters of water. 12 places with very little access to getting purified drinking water, now can access fresh and safe water. Donated fresh and safe water to schools, monastery, church, clinic, and security gates from PC headquarter.</p> <p>* In November, produced 5480 liters of water. Before the end of this month, only 3 places in KKR Tsp can access fresh and safe water. Currently, the new water factory is running back, we will continue to distribute our purified water</p>
	Possible (Actual) Challenges/Difficulties/Fails	<p>Expected the political situation will be in good shape. Door to door marketing to get market share in Hpa-An City and Myawaddy City. Expected to get more market share due to FDA recommendation.</p>	<p>* In September, the extremely high gas price made prices up a situation for purchasing required things in water production.</p> <p>* In October, In the third and last week of this month, due to fighting in Kaw Ka Reik Township, we have to be cautious when distributing water. In spite of the market competition, to ensure that the demand does not decrease and the delivery service is not interrupted when the customer needs it. Inspection and maintenance to ensure that the quality of water and packaging does not decrease. When the water pipelines running from the waterfall are damaged, must be repaired in time so that the water supply does not decrease.</p> <p>* In November, due to the installation of the water purifier machines and factory setup, water production decreased when compared with other months. Inspection and maintenance to ensure that the quality of water and packaging does not decrease. When the water pipelines running from the waterfall are damaged, must</p>
	Request by GMC		

Quarterly activity report

※ Submit once a quarter

Htu Koh Kue - Purified water

Township	Item	1Q (Dec 2022 - Feb 2023)	
		Plan	Actual
Kaw Kareik HtoeKoKue	Producing/Processing	<p>About 240,000 liters of water will be produced.</p> <p>* With the current water machine, in September, October, and November, about 260,000 liters of water will be produced. After the installation of the new water purifier is completed, production will increase. After we received the FDA recommendation the water bottle labels have to change from paper sticker version to plastic label version with FDA recommendation number on it.</p>	<p>* In December, produced 83,988 liters of water. The water production is in good condition. We will try to increase the amount of produced water and also expand distributing places. FDA recommendation application submission will be finished in January 2023 third week.</p> <p>* In January, produced 38,692 liters of water. This month water production is decreased, due to the frequent failures of the water supply lines from water resources. Also and can't buy empty water bottles in time from Hpa An empty bottle factory due to the raw material shortage problem. For the FDA submission process, the documentation checking step is finished, currently, we are waiting for a reply from FDA to submit full-production videos and photos of PD water production.</p> <p>* In February, produced 43,360 liters of water. This month PD water production is slightly decreased due to the forest fire around the waterfall. The connection pipelines from the water resource were burned. 2 times forest fires took us 2 weeks to complete repairing pipelines. We apologize for the absence from reporting on time. For FDA submission, we could be received instruction on Feb 28 from FDA to submit full production footage.</p>
	Marketing	<p>To distribute 20 liters, 1 liter, 0.6 liter, and 0.3-liter water bottles to the grocery stores and homes from 13 villages in Kaw Ka Reik Tsp and Hpa-An City, and Myawaddy City.</p> <p>* After we received the FDA recommendation, we will start to distribute 1 liter and 0.6-liter water bottles to Hpa-An and Myawaddy City's local shops, hotels, and restaurants, including WONK cafe.</p>	<p>* In December, we starting back distributing 20L, 1L and 0.6L water bottles to 12 places in KKR Tsp.</p> <p>* In January, we were able to distribute only 5 places where the market is strongly confirmed in KKR Tsp. We are servicing special order delivery for ceremonies.</p> <p>* In February, we were able to distribute only 5 places including Naw Ta Yar.</p>
	Expected outcome/ Goal and result	<p>Water bottles will be available at key village grocery stores in the villages due to direct delivery service, so our product will be available at any time and demand will increase.</p> <p>The water quality is good and healthy, so the consumer can drink it safely.</p> <p>Purified water bottles will be available for those fourteens villages which haven't accessible to drink</p>	<p>* In December, produced 83,998 liters of water. Currently, 12 places in KKR Tsp can access fresh and safe water. The water donations is back for school, monastery, church, and security gates from PC headquarter.</p> <p>* In January, produced 41,360 liters of water. This month we can only distribute 5 places including Naw Ta Yar, due to the two-time forest fires around the waterfall. The water donations are doing as usual.</p>
	Possible (Actual) Challenges/Difficulties/Fails	<p>Expected the political situation will be in good shape. Door to door marketing to get market share in Hpa-An City and Myawaddy City. Expected to get more market share due to FDA recommendation.</p>	<p>* In December, we were able to produce more water, but finalized production was delayed due to the time needed to label the 1-liter and 0.6-liter drinking water bottles. Currently, we are using laminated paper stickers for 1 and 0.6 liter water bottles. We hoped this bottleneck will be solved after changing the plastic label when we get FDA recommendation approval.</p> <p>* In January, we are facing two problems (1) frequent pipeline failure from water resources and (2) we can't buy empty water bottles in time due to the raw material shortage problem at the empty water bottle factory from Hpa An. Currently, we have to spend so much time on the labeling sector which delaying. We hoped this bottleneck will be solved after changing the plastic label when we get FDA recommendation approval.</p> <p>* In February, the water pipelines from the waterfall were damaged by a forest fire, therefore water production was slightly decreased.</p>
	Request by GMC		

Quarterly activity report

※ Submit once a quarter

Htu Koh Kue - Purified water

Township	Item	2Q (Mar 2023 - May 2023)	
		Plan	Actual
Kaw Kareik HtoeKoKue	Producing/ Processing	After we received the FDA recommendation the water bottle labels have to change from paper sticker version to plastic label version with FDA recommendation number on it.	<p>* In March, produced 46,304 liters of water. This month PD water production slightly decreased due to the trash block in the connection of the pipelines from the water resource to the factory (leaves and small stones and sands), the water flow was weak. Plus our hand tractor was broken and had to be fixed and it was affected for water distribution. For FDA, the revised construction for Inspection Correction from FDA was finished, currently, we are in the final stage (water testing stage), if our water passed the FDA test, we could be received the FDA recommendation number around May.</p> <p>* In April, produced 48,860 liters of water. Currently, we are waiting for the water test result from FDA. Hopefully, it would be finished smoothly and received FDA's recommendation number soon.</p> <p>* In May, produced 49,620 liters of water. FDA, currently, we still waiting for the result, hopefully, we can receive it in the last week of May.</p>
	Marketing	* After we received the FDA recommendation, we will start to distribute 1 liter and 0.6-liter water bottles to Hpa-An and Myawaddy City's local shops, hotels, and restaurants, including WONK cafe.	<p>* In March, we are distributing only 6 places including Naw Ta Yar.</p> <p>* In April, we are distributing PD-purified drinking water to 5 places (including Naw Ta Yar) where the market is strong. After receiving FDA's recommendation number, we plan to make a connection with Mrs. Karen Coffee Shop and start selling our water product at their shop. And we will expand the market gradually.</p> <p>* In May, we are distributing PD-purified drinking water to 5 places (including Naw Ta Yar) where the market is strong.</p>
	Expected outcome/ Goal and result	<p>Water bottles will be available at key village grocery stores in the villages due to direct delivery service, so our product will be available at any time and demand will increase.</p> <p>The water quality is good and healthy, so the consumer can drink it safely.</p> <p>Purified water bottles will be available for those fourteens villages which haven't accessible to drink</p>	<p>* In March, produced 46,304 liters of water. This month we can only be distributed to 6 villages that we have a strong market connection. including Naw Ta Yar. The water donations are doing as usual.</p> <p>* In April, produced 48,860 liters of water. The water donations are doing as usual. This month we distributed our drinking water to the 5 places that have a strong market connection.</p> <p>* In May, produced 49,620 liters of water. The water donations are doing as usual. Currently, Peace Delight Purified Drinking water is available in 5 places that have a strong market connection.</p>
	Possible (Actual) Challenges/Difficulties/Fails	Expected the political situation will be in good shape. Door to door marketing to get market share in Hpa-An City and Myawaddy City. Expected to get more market share due to FDA recommendation.	<p>* In March, water pipelines (trash blocks problems and hand tractor broken problems give us several problems in water production and distribution. Currently, we only have a hand tractor as a major vehicle for water distribution. It also has to use in other sectors like raw materials collection for bokashi production and farming sectors.</p> <p>* In April, we have to ensure that water quality and packaging quality are not compromised in order to penetrate the market despite market competition. Need to deal with on-time delivery service for customers.</p> <p>* In May, we have to ensure that water quality and packaging quality are not compromised in order to penetrate the market despite market competition. Since the second week of May, there has been some difficulty in the transportation of distributing water due to continuous rain.</p>
	Request by GMC		

Quarterly activity report

※ Submit once a quarter

Htu Koh Kue - Honey product

Township	Item	2Q (Mar 2022 - May 2022)	
		Plan	Actual
Kaw Kareik HtoeKoKue	Producing/Processing	To Produce - (1) Lychee Honey (1500 lbs). (2) Rubber Honey (1500 lbs). (3) Bee Wax (30 lbs).	<p>* In March, produced 1200 lbs of Lychee Honey and 12 lbs of Bee Wax. Plan to produce 250 ml lychee honey bottles at the end of this month. Hopefully, they can start value added products from honey in May. (Giger Honey, Garlic Honey, Honey Mead, Honey Lotion, Lip Cream).</p> <p>* In April, produced 800 lbs of weed honey and 8 lbs of bee wax.</p> <p>* In May, no honey production. * During this month, work is underway to develop beehives. Destruction of obsolete bee hives; construction of new wax foundations: Due to the treatment of ticks and the breeding of new queen bees, honey production could not be carried out. Plum Honey will be produced back in the first week of September.</p>
	Marketing	<p>(1) Rubber Honey will be sold to DAW MAW MAW YIN COMPANY - YANGON. (2) Lychee Honey will be sold to the clients from HpaAn, KawKaReik, Yangon, TonTay, MawLaMyine. (3) Bee Wax will be exchanged with Bee Foundation.</p> <p>* Rubber Honey 1500 lbs will be sold to Daw Maw Maw Yin Company from Yangon.</p> <p>* Weeds Honey 1500 lbs will be sold to the clients from HpaAn, KawKaReik, Yangon, TonTay, MawLaMyine. * Bee Wax will be exchanged with Bee Foundation.</p>	<p>* In March, Lychee Honey is sold to regular customers and companies. (Company price 4000 mmk for 1 viss) (Regular customers price 5000 mmk for 1 viss).</p> <p>* In April, Weed Honey was sold to Hay Honey Company. (Company 1 lbs = 1000 MMK).</p> <p>* In May, 52 bottles of Honeycomb with honey were sold to WONK. (1bottle = 3300 MMK).</p>
	Expected outcome/ Goal and result	450 Acres crop pollination service to farmers. Will earn income from honey and bee products. Can support the organization. Pollination services can increase farmers' yield per acre from 5% to 10%. People who consume honey and bee products will be healthier.	<p>* In March, 300 Acres crop pollination service to farmers. Lychee Honey 333 viss sold to the company 1 viss = 5000 mmk x 333 viss = 1,665,000 mmk)</p> <p>* In April, there has only a pollination service for forests due to no crop season. In April, 800 lbs of Weed Honey sales received 800,000 MMK.</p> <p>* In May, 300 acres of sesame crop pollination service to farmers. 52 bottles of honeycomb with honey were sold to WONK. 1 bottle = 3300 MMK = 171,600 MMK)</p>
	Possible (Actual) Challenges/Difficulties/Fails	<p>(1) Due to the seasonal relocation to the bee pastures, the relocation costs are high. Need to relocate on time.</p> <p>(2) When the weather changes, bee plants can be damaged. Difficult to feed the bees. Yields can be decreased. Damage can happen.</p> <p>(3) There is no regular honey market. The purchase price of company is low. If you sell at a local price, you will get a good price but there is an imbalance between supply and demand. It was difficult to sell because of Covid. (4) Beekeeping staffs are unstable. Beekeeping is difficult due to the lack of skilled staffs.</p> <p>(5) Due to the bee diseases prevention season in January</p>	<p>* In March, transportation is difficult due to political instability and rising gas price.</p> <p>* In April, beehives migration is difficult due to political instability and rising gas price. Currently, beehives are located in Bago Region.</p> <p>* In May, beehives migration is difficult due to political instability and rising gas price impacts on the migration process. Rainfall due to abnormal weather. Due to the strong winds, the sesame fields were damaged and the availability of bee pastures was slightly affected. Currently, beehives are located in the Kyauk Se region. .</p>
	Request by GMC		

Quarterly activity report

※ Submit once a quarter

Htu Koh Kue - Honey product

Township	Item	3Q (June 2022 - Aug 2022)	
		Plan	Actual
Kaw Kareik HtoeKoKue	Producing/ Processing	(1) Bee Feeding Season. (2) Prevention and treatment of bee diseases	June is the rainy season, so bees can not collect nectar. To develop beehives, the bees only get nectar to survive. Therefore, it is not possible to produce honey in June. Bee disease treatment period was finished this month. Currently, bee camping is relocated in the Magway region. In July, due to the rainy season, there is not enough natural bee food and bee pollen to produce honey. * In August, due to the rainy season, there is not enough natural bee food and bee pollen to produce honey. PD apiculture production doing, raising queen bees, increasing beehives, and exchanging bee sheets from old to new in August. Plum Honey will start harvesting in September's first week. Will produce plum honey bottle with honeycomb for WONK.
	Marketing	There is no sale because of bee feeding and prevention and treatment of bee diseases	In June, there is no marketing and sales. 24 containers of honey with honeycomb (Large Size) were sold to the local village store in June. In July, 24 containers of honey with honeycomb (Medium Size) were sold to the WONK. * In August, there is no marketing and sales.
	Expected outcome/ Goal and result	450 Acres crop pollination service to farmers. Will earn income from honey and bee products. Can support the organization. Pollination services can increase farmers' yield per acre from 5% to 10%. People who consume honey and bee products will be healthier.	400 Acres of sesame and corn crop pollination service to farmers. In July, 300 acres of chili and various bean and pea crop pollination service to farmers. * In August, 300 acres of chili and various bean and pea crop pollination service to farmers.
	Possible (Actual) Challenges/Difficulties/Fails	(1) Due to the seasonal relocation to the bee pastures, the relocation costs are high. Need to relocate on time. (2) When the weather changes, bee plants can be damaged. Difficult to feed the bees. Yields can be decreased. Damage can happen. (3) There is no regular honey market. The purchase price of company is low. If you sell at a local price, you will get a good price but there is an imbalance between supply and demand. It was difficult to sell because of Covid. (4) Beekeeping staffs are unstable. Beekeeping is difficult due to the lack of skilled staffs. (5) Due to the bee diseases prevention season in January	In June, due to the seasonal relocation to the bee pastures, the relocation costs are high. Need to relocate on time. Due to the curfew time from 10 pm to 4 am, the bee workers have to sleep on the road while they relocate the beehives. They have to follow strictly the local rules of the bee camping place. July is the rainy season, so the bees are unable to gather nectar. Bees only get nectar to survive, so they can't produce honey. Sugar is fed as a supplement. As fuel prices rise, beehives' relocation costs increase. Currently, the beehives are relocated to Gway Kone Village, Yemethin Tsp in Mandalay Division. * August is the rainy season, so the bees are unable to gather nectar. Bees only get nectar to survive, so they can't produce honey. Sugar is fed as a supplement. As fuel prices rise, beehives' relocation costs increase. Currently, the beehives are relocated to Gway Kone Village, Yemethin Tsp in Mandalay Division.
	Request by GMC		

Quarterly activity report

※ Submit once a quarter

Htu Koh Kue - Honey product			
Township	Item	4Q (Sep 2022 - Nov 2022)	
		Plan	Actual
Kaw Kareik HtoeKoKue	Producing/Processing	To produce - (1) Plum Honey (2500 lbs). (2) Niger Honey (1250 lbs). (3) Bee Wax (37.5 lbs)	<p>* In September, produced 200 lbs (56 visses) of plum honey and 2 lbs of bee wax.</p> <p>* In October, no honey production due to the weather condition. Now the beehive location is moved to Heho City in Southern Shan State for Niger honey production.</p> <p>* In November, produced 2796 lbs of Niger Honey were produced. 1200 lbs of Niger Honey were sold to Shwe Pann Company. We have 1596 lbs of Niger Honey in stock. Therefore we will continue to sell the stock amount of Niger Honey to other companies and customers.</p>
	Marketing	(1) Niger Honey will be sold to SHWE PAN COMPANY - AUNG PAN CITY. (2) Plum Honey will be sold to the clients from HpaAn, KawKaReik, Yangon, TonTay, MawLaMyine. (3) Bee Wax will be exchanged with Bee Foundation.	<p>* In September, 200 lbs (56 visses) of plum honey were sold to the Bee Department from Ayeywarwaddy Division.</p> <p>56 visses x 4000 mmk = 224,000 mmk received from September sales.</p> <p>* In October, no honey sales.</p> <p>* In November 1200 lbs of Niger Honey were sold to Shwe Pann Company. (1200 lbs x 1250 mmk= 1,500,000 mmk) received from November honey sales.</p>
	Expected outcome/ Goal and result	450 Acres crop pollination service to farmers. Will earn income from honey and bee products. Can support the organization. Pollination services can increase farmers' yield per acre from 5% to 10%. People who consume honey and bee products will be healthier.	<p>* In September, 300 acres of Corn, Chilli and Bean crop pollination service to farmers.</p> <p>* In October, 300 acres of plum, niger, and chili crop pollination service to farmers.</p> <p>* In November, 450 acres of niger, sunflower, and other natural flower crop pollination service to farmers.</p>
	Possible (Actual) Challenges/Difficulties/Fails	<p>(1) Due to the seasonal relocation to the bee pastures, the relocation costs are high. Need to relocate on time.</p> <p>(2) When the weather changes, bee plants can be damaged. Difficult to feed the bees. Yields can be decreased. Damage can happen.</p> <p>(3) There is no regular honey market. The purchase price of company is low. If you sell at a local price, you will get a good price but there is an imbalance between supply and demand. It was difficult to sell because of Covid. (4) Beekeeping staffs are unstable. Beekeeping is difficult due to the lack of skilled staffs.</p> <p>(5) Due to the bee diseases prevention season in January</p>	<p>* In September, honey production is lower than expected. At the current beehive location area, farmers use pesticides on their farms, so when bees feed on nectar, they ingest the pesticides and die. And the other problem is the weather situation, bees can't get enough nectar and pollen to produce plum honey. (this problem has happened to all apiculture productions, which try to produce plum honey). Hopefully, to produce more honey in October, after the relocation of the beehives to Shan State.</p> <p>* In October, due to the weather conditions and the production of crops in the fields is low, there is not enough nectar to produce honey.</p> <p>* In November, a beekeeping camp is located in Heho City (southern Shan State). The beehive's conditions are good.</p>
	Request by GMC		

Quarterly activity report

※ Submit once a quarter

Htu Koh Kue - Honey product

Township	Item	1Q (Dec 2022 - Feb 2023)	
		Plan	Actual
Kaw Kareik HtoeKoKue	Producing/ Processing	To produce - (1) Plum Honey (2500 lbs). (2) Niger Honey (1250 lbs). (3) Bee Wax (37.5 lbs)	<p>* In December, produced 1600 lbs (444.44 visse) of niger honey and 8 lbs of bee wax. Currently, the bee-keeping camp is camped at places where there are crop fields and natural bee food around Heho in Shan State. At the end of December, the bee camp will be relocated to the area around Taungoo City where the bee can get natural bee feed.</p> <p>* In January, there has no honey production, a mite disease treatment period for the bees. Currently, the beekeeping camp is located at Yay Tar Shey Township in Bago Division. We check the beehives every 3 days to improve their strength of the beehive. The bees will be able to continue producing honey only after raising them to be strong until February.</p> <p>* In February, there has no honey production. Bee disease treatment period, replacing the old bee comb sheets with new ones, adding new queen bees, and beehive maintenance. We plan to produce 1800 lbs of Rubber Honey in March.</p>
	Marketing	(1) Niger Honey will be sold to SHWE PAN COMPANY - AUNG PAN CITY. (2) Plum Honey will be sold to the clients from HpaAn, KawKaReik, Yangon, TonTay, MawLaMyine. (3) Bee Wax will be exchanged with Bee Foundation.	<p>* In December 1600 lbs (444.44 visse) of niger honey were sold to customers. (444.44 visse x 4500 mmk = 1,999,980 mmk) received from December honey sales.</p> <p>* In January, there is no sale because of the prevention period and treatment of bee diseases.</p> <p>* In February, there is no production and sales.</p>
	Expected outcome/ Goal and result	450 Acres crop pollination service to farmers. Will earn income from honey and bee products. Can support the organization. Pollination services can increase farmers' yield per acre from 5% to 10%. People who consume honey and bee products will be healthier.	<p>* In December, 300 acres of niger, sunflower, corn, and mustard crop pollination service to farmers.</p> <p>* In January, 300 acres of niger, sunflower, corn, and mustard crop pollination service to farmers.</p> <p>* In February, pollination service to rubber, sunflower, and mango.</p>
	Possible (Actual) Challenges/Difficulties/Fails	<p>(1) Due to the seasonal relocation to the bee pastures, the relocation costs are high. Need to relocate on time.</p> <p>(2) When the weather changes, bee plants can be damaged. Difficult to feed the bees. Yields can be decreased. Damage can happen.</p> <p>(3) There is no regular honey market. The purchase price of company is low. If you sell at a local price, you will get a good price but there is an imbalance between supply and demand. It was difficult to sell because of Covid. (4) Beekeeping staffs are unstable. Beekeeping is difficult due to the lack of skilled staffs.</p> <p>(5) Due to the bee diseases prevention season in January</p>	<p>* In December, due to the political situation, there are difficulties when relocating the bee camp.</p> <p>* In January, due to the political situation, there are difficulties when relocating the bee camp. In the last year, bad weather conditions and using pesticides for their cropping by farmers affected the bee pastures. The number of bees has decreased significantly. Queen Bees need to replace with new ones. The honeycomb sheet with frame needs to be added more for honey production which is necessary for the recovery of beekeeping.</p> <p>* In February, fighting between SAC and PDF makes difficulties for our beekeeping. This month, we relocated from the multi-flower bee pasture to the rubber bee pasture due to fighting. Farmers are unable to fully plant their fields. So the bees need to go far away to look for their pasture. Therefore bees didn't get back to their hives in time. The curfew time is 6 pm, so our beekeeping workers faced difficulties</p>
	Request by GMC		

Quarterly activity report

※ Submit once a quarter

Htu Koh Kue - Honey product

Township	Item	2Q (Mar 2023 - May 2023)	
		Plan	Actual
Kaw Kareik HtoeKoKue	Producing/ Processing	To Produce, Rubber Honey (1500 lbs). Bee Wax (30 lbs).	<p>* In March, rubber honey production was started. Currently, we produced 720 lbs of rubber honey and still continuing for producing.</p> <p>* In April, we continued to produce rubber honey. Currently, another 280 lbs of rubber honey were produced. At the end of April, the bee-keeping camp will relocate to the sesame pasture for producing sesame honey.</p> <p>* In May, the bee-keeping camp relocated to the sesame pasture for honey production. Currently, work is underway to develop the number of beehives, raising more queen bees and wax foundation sheets need to replace old ones with new ones.</p>
	Marketing	<p>* Rubber Honey 1500 lbs will be sold to Daw Maw Maw Yin Company from Yangon.</p> <p>* Bee Wax will be exchanged with Bee Foundation.</p>	<p>* In March, still producing rubber honey and there have been no sales.</p> <p>* In April, 720 lbs of rubber honey were sold to the market.</p> <p>* In May, there are no honey sales.</p>
	Expected outcome/ Goal and result	450 Acres crop pollination service to farmers. Will earn income from honey and bee products. Can support the organization. Pollination services can increase farmers' yield per acre from 5% to 10%. People who consume honey and bee products will be healthier.	<p>* In March, pollination service to rubber plantations.</p> <p>* In April, there has no pollination service.</p> <p>* In May, nearly 600 acres of pollination services to sunflower, sesame, corn, and various bean plantations.</p>
	Possible (Actual) Challenges/Difficulties/Fails	<p>(1) Due to the seasonal relocation to the bee pastures, the relocation costs are high. Need to relocate on time.</p> <p>(2) When the weather changes, bee plants can be damaged. Difficult to feed the bees. Yields can be decreased. Damage can happen.</p> <p>(3) There is no regular honey market. The purchase price of company is low. If we sell at a local price, we can get a good price but there is an imbalance between supply and demand. (4) Beekeeping staffs are unstable. Beekeeping is difficult due to the lack of skilled staffs.</p> <p>(5) Due to the bee diseases prevention season in January and February, honey production will be low.</p>	<p>* In March, fighting between SAC and PDF makes difficulties for our beekeeping. This beekeeping year is a struggling year for all beekeeping businesses. All beekeeping businesses are suffering from bee diseases and pesticides affected. Due to that, losing bees and beehives. Due to climate changes bee pastures are damaged. Sesame honey and Plum honey production are stopped. Due to the bee pasture damage, we need to feed sugar instead of natural bee foods and it has deviated from the natural path. Relocating costs are high and it was difficult due to fighting in some areas. We are trying as much as we can for honey production in these conditions.</p> <p>* In April, Due to the hot weather in April, there is not enough nectar and pollen, so there is not enough bee food. Therefore we planned to move to the sesame pasture for the sesame honey production. Most of the bee-keeping area is not stable and peaceful, and the beehives in the bee camp cannot be properly inspected and</p>
	Request by GMC		

Quarterly activity report

※ Submit once a quarter

Htu Koh Kue - Bokashi

Township	Item	2Q (Mar 2022 - May 2022)	
		Plan	Actual
Kaw Kareik HtoeKoKue	Producing/ Processing	* Plan to produce 1000 bags of embokashibio fertilizer (10kg).	* In April, produced 200 bags of embokashi.* KKR District Chief (FB friend with SSW) from DoA found out PD bokashi post via PD Foundation Page and they requested HKK to apply for bokashi production license formally. Therefore plan to apply production license for PD embokashi biofertilizer. * In May, PD bokashi production prepares 400 bags for the second batch production. They changed the price range from 2000 MMK to 2200 MMK for wholesale price and 2500 MMK for retail price.
	Marketing	* Distribution will start at agricultural shops in KKR Tsp, Kyondo Tsp and Hpa-An Tsp. * Retais price 2000 MMK per 10kg bag. Wholesale price 1800 MMK per 10kg bag. * It is estimated that between 300 and 500 bags will be sold per month. * Plan to sell via online. * Plan to open a shop in Nabu village and sold embokashi together with agricultural inputs. * In May, leaflets for farmer education and brochures on bokashi production and benefits will be distributed.	* In April, 110 bags of PD bokashi were sold to the Taungoo region. * In May, 10kg 50 bags were sold to KKR and MWD with the new wholesale price, and 6 bags were sold to Hpa-An with the new retail price.
	Expected outcome/ Goal and result	* Expected, to become regional trademark product from Kayin State. * Expected, to organize the practice of growing organic fruits and vegetables. * Expected, to become commerical distribution and to create job opportunities for income generation for the local people.	* In April, Total 110 bags of PD bokashi (10kg bag) were sold to Taungoo. * (100 bags with wholesale price = 1800 MMK per bag) * (10 bags with retail price = 2000 MMK per bag) * In May, 10 kg 50 bags were sold to KKR and MWD by wholesale price (2200 MMK for each bag). and 6 bags to Hpa-An by retail price (2500 MMK for each bag). PD bokashi production earns 125,000 MMK from May sales.
	Possible (Actual) Challenges/Difficulties/Fails	* Systematic production to produce high quality products. * It is difficult to penetrate the market as it is a new product.	* Due to the approaching rainy season, transportation is often delayed. * In May, transportation, production, and distribution faced problems due to heavy rain.
	Request by GMC		

Quarterly activity report

※ Submit once a quarter

Htu Koh Kue - Bokashi

Township	Item	3Q (June 2022 - Aug 2022)	
		Plan	Actual
Kaw Kareik HtoeKoKue	Producing/Processing	* Plan to produce 1200 bags of embokashibio fertilizer (10kg).	In June, produced 200 bags from second-time production. Another 200 bags amount of bokashi were ready to pack. Collecting raw materials for further production. In July, 200 bokashi bags will be produced in the third round of production. The license application process will start in August. * In August (last week), 200 bokashi bags will be produced as the fourth-round production.
	Marketing	* Plan to find new customers shops in KKR, Kyone Doe and Hpa-An * Retail price is 2500 MMK per 10kg bag. The wholesale price is 2200 MMK per 10kg bag. * Target to sell 400 bags per month. * Plan to sell online. * Plan to open a shop in Nabuu village and sold together with agricultural inputs. * Plan to distribute leaflets about the benefits of bokashi usage for farmer education.	In June, PD bokashi was sold to Kaw Ka Reik, Myawaddy, Hpa An, and Mandalay including agricultural shops and private home users. In July, PD bokashi bags were sold to the agricultural shops from KKR and Hpa-An Tsp. Also sold to Kyone Ma Ngay City from Ayeyarwaddy Division. * In August, PD bokashi bags were sold to the rambutan and mango farmer from Kyone Doe in KKR Tsp.
	Expected outcome/ Goal and result	* Expected, to become regional trademark product from Kayin State. * Expected, to organize the practice of growing organic fruits and vegetables. * Expected, to become commercial distribution and to create job opportunities for income generation for the local people.	In June, we have 234 bags of bokashi sales with wholesale prices and retail prices. 214 bags x 2200 (wholesale price, received 470,800 MMK). 20 bags x 2500 (retail prices, received 50,000 MMK). Total 570,800 sales in June. In July, we have 200 bokashi bag sales. (200x2500 =500,000 MMK). * In August, we have 120 bokashi bag sales. (120x2500 = 300,000 MMK).
	Possible (Actual) Challenges/Difficulties/Fails	*Due to the rainy season, traffic is often delayed. An indoor building needs to be prepared for the Bokashi production segment. season, traffic is often delayed.	In June, due to the rainy season, cow dung is wet when making fertilizer. It is difficult to set fire to the ashes. There is difficulty in drying fertilizers. In July, due to the rainy season, cow dung is wet when making fertilizer. It is difficult to set fire to the ashes. There is difficulty in drying fertilizers. We can pass those difficulties when the bokashi drying house is finished. * In August, due to the rainy season, we faced difficulties when delivering bokashi bags. Cow dung is wet when making bokashi. It is difficult to set fire to the ashes. There is difficulty in drying bokashi. We can pass those difficulties when the bokashi drying house is finished.
	Request by GMC		

Quarterly activity report

※ Submit once a quarter

Htu Koh Kue - Bokashi

Township	Item	4Q (Sep 2022 - Nov 2022)	
		Plan	Actual
Kaw Kareik HtoeKoKue	Producing/ Processing	* We plan to produce 2000 bokashi bags (10 kg and 25 kg) in October and November.	<p>* In September, 150 bokashi bags will be produced as fifth-round production. Currently, 72 bags are ready to distribute. The remaining bokashi are in the drying stage. Currently, we prepared the documentation for the bokashi license application. Bokashi Drying House construction was finished. After collecting raw materials for further production, we plan to produce at least 500 bokashi bags for each production round.</p> <p>* In October, We can produce only 70 bokashi bags. Now the rainy season is finished and we are starting to collect raw materials. From the sixth-round production, we will produce 500 bokashi bags. Bokashi license application process is delayed due to fighting in KKR Tsp.</p> <p>* In November last week, we started the 6th round of production. From this round of production, we will produce 500 bokashi bags.</p> <p>* In December, 200 bokashi bags are ready to distribute from the 6th round of production. We will try to produce the target amount of 500 bokashi bags within this month. Currently, we also collecting raw materials for further production. We have to change the type of bag, from the current bag version to the new bag version. We need to add information like how to use it, ingredients, properties of bokashi, lab test results, warning, and production license number on the bag. This is a required</p>
	Marketing	* Bokashi bags will be sold to the agricultural shops, farms and private sector from KKR, Hpa-An and MWD. And also from online selling via FB page.	<p>* In September, bokashi bags had been sold to Kyone Doe, Kaw Ka Reik and Myawaddy.</p> <p>* In October, bokashi bags had been sold to WONK and Kyone Doe.</p> <p>* In November, no sales.</p> <p>* In December, we distributed PD bokashi to Kyone Doe and Yangon. In January 2023, we plan to make a promotion workshop for PD bokashi for the farmers. Tentatively, we will choose the place to hold the promotion workshop at Na Boo village or the village near Hpa-An.</p>
	Expected outcome/ Goal and result	<p>* Expected, to become regional trademark product from Kayin State.</p> <p>* Expected, to organize the practice of growing organic fruits and vegetables.</p> <p>* Expected, to become commerical distribution and to create job opportunities for income generation for the local people.</p>	<p>* In September, received 500,000 MMK from 200 bokashi bag sales.</p> <p>* In October, received 175,000 MMK from 70 bokashi bag sales.</p> <p>* In November, no sales.</p> <p>* In December, 55 bokashi bags from the 6th round of production were sold and received 220,000 mmk.</p>
	Possible (Actual) Challenges/Difficulties/Fails	* Due to rainy season, raw materials collecting process will be difficult.	<p>* Because it is a rainy season, it is difficult to collect raw materials. It takes time to ensure that the quality does not decrease. It is difficult to deliver immediately to customers who order small quantities from remote areas.</p> <p>* In October, due to the busy schedule and health issues, bokashi production slightly decreased. Heavy rain makes us difficult to collect raw materials.</p> <p>* In November, there has no update information.</p> <p>* In December, As the challenges and difficulties, in producing good quality bokashi, (a) Making precise mixes need to be done (b) need to wait for a specified period of time to improve the biological process (c) for the convenience of using our PD bokashi, proper drying need to be done and filtering process needs to make to get a fine bokashi powder without solid.</p>
	Request by GMC		

Quarterly activity report

※ Submit once a quarter

Htu Koh Kue - Bokashi

Township	Item	1Q (Dec 2022 - Feb 2023)	
		Plan	Actual
Kaw Kareik HtoeKoKue	Producing/ Processing	* We plan to produce 2000 bokashi bags (10 kg and 25 kg) in October and November.	* In December, 200 bokashi bags are ready to distribute from the 6th round of production. We will try to produce the target amount of 500 bokashi bags within this month. Currently, we also collecting raw materials for further production. We have to change the type of bag, from the current bag version to the new bag version. We need to add information like how to use it, ingredients, properties of bokashi, lab test results, warning, and production license number on the bag. This is a required step in applying for Peace Delight Bokashi Production License (application instructions). In addition, from the 6th-round production (this time production) we plan to produce a 25 kg bokashi bag version as a new version. Hopefully, the balance of bokashi bags amount from the 6th round of production will be produced with the new type of bags. Due to the high commodity prices, we changed the retail price from 2500 mmk to 4000 mmk for 10 kg size. After purchasing the 25 kg size bags we will update the sale price for that. And also will start to prepare the cost and profit data file from this round of production. * In January, We're not finished producing the targeted bokashi production amount in time. Firstly, we plan to produce 500 bokashi bags from the 6th round of production but in actuality, we can only produce 300 bokashi bags. The sales price needs to be revised due to the high commodity prices. Therefore we plan to revise the price from 4000 mmk to 3000 mmk for 10 kg size.
	Marketing	* Bokashi bags will be sold to the agricultural shops, farms and private sector from KKR, Hpa-An and MWD. And also from online selling via FB page.	* In December, we distributed PD bokashi to Kyone Doe and Yangon. In January 2023, we plan to make a promotion workshop for PD bokashi for the farmers. Tentatively, we will choose the place to hold the promotion workshop at Na Boo village or the village near Hpa-An. * In January, we held a small marketing workshop for Peace Delight Bokashi in Hpa-An. Hopefully, we can get more orders after holding the marketing workshop. * In February, we are doing (door-to-door) marketing system for the nursery plantation shops in Hpa An City for PD bokashi sales. Currently, we received the connection with 2 nursery plantation shops. We are using an instant cash system and a credit system for PD bokashi sales.
	Expected outcome/ Goal and result	* Expected, to become regional trademark product from Kayin State. * Expected, to organize the practice of growing organic fruits and vegetables. * Expected, to become commercial distribution and to create job opportunities for income generation for the local people.	* In December, 55 bokashi bags from the 6th round of production were sold and received 220,000 mmk. * In January, there are no sales. We can start back the sale in February second week. * In February, 45 bokashi bags were sold with 4800 mmk rate. 10 bags with a credit system and 35 bags with a cash system. We will be continuing the sales.
	Possible (Actual) Challenges/Difficulties/Fails	* Due to rainy season, raw materials collecting process will be difficult.	* In December, As the challenges and difficulties, in producing good quality bokashi, (a) Making precise mixes need to be done (b) need to wait for a specified period of time to improve the biological process (c) for the convenience of using our PD bokashi, proper drying need to be done and filtering process needs to make to get a fine bokashi powder without solid. * In January, we didn't finish the targeted production amount in the time frame. This month, the raw material collection time exceeded our target time, and there were delays in production. * In February, we also didn't hit the targeted amount 300 bokashi bags, we can only produced 269 bags. We will be trying to fit in the time frame for the coming production round.
	Request by GMC		

Quarterly activity report

※ Submit once a quarter

Htu Koh Kue - Bokashi

Township	Item	2Q (Mar 2023 - May 2023)	
		Plan	Actual
Kaw Kareik HtoeKoKue	Producing/ Processing	* We plan to produce at least 300 bokashi bags starting from the 7th round of production.	* In March, produced 170 bokashi bags but with the balance stock from the 5th round production, we could say March production is hitting the target amount of 300 bokashi bags. We will continue to hit the targeted amount for April production. Bokashi License, currently, we will receive the recommendation letter from DoA on coming Monday. We need to prepare some documents for submitting documentation in ECD (Environmental Conservation Department) with the letter from DoA. After receiving the ECD recommendation, we will continue to get a DISI license. After getting all the required documents we will continue to the NPT stage. * In April, we produced 300 bokashi bags. * In May, we produce 300 bokashi bags.
	Marketing	* We will be doing door-to-door marketing to the nursery plant shops and agricultural shops in Hpa-An City.	* In March, last week, we plan to do (a door-to-door) marketing system in Hpa-An City. This month we received a connection from Yangon who wants to work with us as a partner (PD fertilizer Agent). We have several inquiries to work with us as a partner (PD fertilizer Agent) via online. After confirming, we will update in the quarterly report. Currently, we have 2 agents from Yangon and 1 from Mudone (Maw La Myine). We will work with them closely for future marketing. * In April, there is no marketing activity. * In May, we tried as much as we can for online marketing. We often contact via phone to the customers for on-ground marketing.
	Expected outcome/ Goal and result	* Expected, to become regional trademark product from Kayin State. * Expected, to organize the practice of growing organic fruits and vegetables. * Expected, to become commercial distribution and to create job opportunities for income generation for the local people.	* In March, currently 71 bags were sold to the customers. 50 bags were sold to the Yangon Agent and 21 bags were sold in Hpa-An. * In April, 140 bokashi bags were sold to customers from Yangon, Mudone, Bilu Island, and Kyone Doe. * In May, 110 bokashi bags were sold to Kyone Doe, Kaw Ka Reik and Kyar Inn Seik Gyi.
	Possible (Actual) Challenges/Difficulties/Fails	* Current, political instability makes it difficult to do marketing in KKR Tsp. We plan to focus on the area of Hpa An City.	* In March, even though marketing is challenging for us we will try and prepare to do better. * In April, to get good quality bokashi, (a) Making precise mixes, (b) Need to wait for a specified period of time to improve the biological process (c) Proper drying for the convenience of users to make the powder without lumps (filtering). * Due to regional unrest, the farmers from Myawaddi, Kaw Ka Reik, and Kyone Doe reduced agricultural activity, resulting in the demand being unstable at the moment. * In May, Due to regional unrest, the farmers from Myawaddi, Kaw Ka Reik, and Kyone Doe reduced agricultural activity, resulting in the demand being unstable at the moment.
	Request by GMC		

Quarterly activity report

※ Submit once a quarter

Kamamaung Konjac farmer

Township	Item	2Q (Mar 2022 - May 2022)	
		Plan	Actual
Kamamaung Hpa Pun	Producing/ Processing	Land preparing and fertilizing the soil for next konjac season. Konjac will be regrown for next season. *Estimated 10 acres (around 40,000 Konjac trees) will be grown for the next coming season. (Start from at the end of May). *For getting more price, they plan to produce a completely dry konjac version in the next coming season.	Land preparing and fertilizing the soil were done. Konjac cultivation was started in Late May. *Estimated 10 acres (around 40,000 Konjac trees) Plus Due to political unstablity, farmer havent considered how much they will do dry or fresh konjac yet. Wait and See Period!!
	Marketing	*Plan to sell Konjac (Fresh and Dry version) to brokers sales center at KMM from next season.	...
	Expected outcome/ Goal and result	nil *As an expectation, at least 10,000 to over 10,000 vissees of fresh Konjac will get from next season. *2000 vissees (expectation amount of completely dry konjac) will get from 10,000 vissees of fresh konjac. *1 viss of fresh konjac = 1,500 mmk (expectation price in the coming season) *1 viss of dry konjac (completely dry version) = 15,000 mmk (expectation price in the coming season)	
	Possible (Actual) Challenges/Difficulties/Fails	Up to fertilizer feeding and uncertainty of weather, unexpected loss of yield can be occurred but it is very rare. *We are worried about market instability and falling konjac price.	Fertilizer and other agrochemical costs has risen up since last year, farmers are concerning for the yield.
	Request by GMC		

Quarterly activity report

※ Submit once a quarter

Kamamaung Konjac farmer

Township	Item	3Q (June 2022 - Aug 2022)	
		Plan	Actual
Kamamaung Hpa Pun	Producing/ Processing	These month, there will be no processing but konjac farmers will be taking care their konjac cultivation ie weeding, feeding, etc. June-July: Growing, weeding and feeding plus filling with long term fruit trees July-Aug: Weeding and Feeding plus filling with long term fruit trees Aug-Sept: Weeding and Feeding	Whole month of June was filled up with growing activity in konjac field. Plus, long term trees like ranbutand and mangos were filled inside the konjac farm to practice intercropping (agroforestry) July: cleaning the weeds inside the konjac farm and feeding natural compost and guano About only 5 acres was extended. Last year, Most farmers havent harvest the konjac (for 20 acres=6000 viss), the total acres for this year will be about 25 acres. August: Taking care of konjac field, fencing, weeding, applying natural compost etc.
	Marketing	no marketing	no marketing
	Expected outcome/ Goal and result	6 farmers will produce in 11 acres in 3 villages. 500 plants will be grown per acre. 500*11 acre= 5000 plants next year.	as planned, 6 farmers will produce in 11 acres in 3 villages. Plus all of them made fences for the farms and long term trees like mango and ranbutum fruit trees could be intercropped in the konjac land. Only 300 Viss per acre will be harvested for this year, some remain as the way it is in the soil. Farmers havent decided yet if they make it dry or remain it fresh.
	Possible (Actual) Challenges/Difficulties/Fails		
	Request by GMC		

Quarterly activity report

※ Submit once a quarter

Kamamaung Konjac farmer

Township	Item	4Q (Sep 2022 - Nov 2022)	
		Plan	Actual
Kamamaung Hpa Pun	Producing/ Processing	Sept-Nov: 1000-2000 viss will be planned to dig out for raw. Another 2000 viss will be digged for processing. Konjac seeds will be sold 300 viss (2500 per viss). Regular weeding and soil maintenance will be done as usual. Depending on the price, Konjac will be dug for next season in October. farmer will consider if they can sell or keep as seeds. Nov: Konjac will be dug only for keeping as seeds.	grafting training was done and 12 participants had joined it. Weeding and fertilizing of the konjac farm was done as usual. As the price of fresh konjac is 800 kyat per viss and dry one is 8000 mmk, farmer were dug and small ones were regrown as seed. Oct: Most farmers decided to keep all of the konjac as seed for next year.
	Marketing	Sept: market for dry konjac is not sure. Some pay 6000 mmk per viss but some pay 8000-9000mmk. Farmers expected to get 10000 per viss.	meeting with konjac dealer was held and negotiated price was 800 kyats per viss. It was too low under the production cost. Most farmers decided not to sell this year.
	Expected outcome/ Goal and result	Dry konjac 300-400 viss can be expected to produced this year.	100000 viss fresh or 1000 viss dry was expected to produced but according to the current price, it will be difficult to cover even for the harvesting cost,
	Possible (Actual) Challenges/Difficulties/Fails	Due to political unstablity and unsecureness, the price of agricultural input were gone up. Actual operation cost has been risen up than the expected before. Marketing demand is decreasing too. Farmers are guessing Konjac cannot be sold out as last year.	Oct: Meet with the dealer again and negotiate for the price. Dealer couldn't give more than 800 mmk, farmers are facing with the problems.
	Request by GMC		initial investment was too much for the farmers and almost return/ revenue is none. The price of agricultural input are going up. Oct: Farmer meeting and training how to keep the konjac and they discussed for processing and preserved food (konjac based).GMC was requested in marking linking and finding markets for the farmers.

Quarterly activity report

※ Submit once a quarter

Kamamaung Konjac farmer

Township	Item	1Q (Dec2022 -Feb2023)	
		Plan	Actual
Kamamaung Hpa Pun	Producing/ Processing	Dec: no konjac activity	-no special activity for Konjac but weeding and collecting manure were regularly done for the konjac.
	Marketing	No konjac marketing activity	
	Expected outcome/ Goal and result	no market demand due to the unstable market price and ensurance.	
	Possible (Actual) Challenges/Diff iculties/Fails		
	Request by GMC		

Quarterly activity report

※ Submit once a quarter

Kamamaung Konjac farmer

Township	Item	2Q (Mar 2023 - May 2023)	
		Plan	Actual
Kamamaung Hpa Pun	Producing/ Processing	Mar: No konjac activity Apr: Weeding	Mar: No konjac activity but only weeding was done. Apr: Weeding, Growing some plots, Adding Manure and Fertilizers May: Weeding was continuing.
	Marketing	No marketing at all.	No Marketing at all.
	Expected outcome/ Goal and result		
	Possible (Actual) Challenges/Diff iculties/Fails		
	Request by GMC		

Quarterly activity report

※ Submit once a quarter

KMM (Oil Mill and Grinding Factory)

Township	Item	2Q (Mar 2022 - May 2022)	
		Plan	Actual
KaMaMau ng	Producing/ Processing	1. Tumeric powder making will be done as previous year. Service fee will be charged for the outsiders. 2. Other kinds of power such as rice, yam, sweetpotato will be tried this year.	Tumeric powder making bussiness was done and 3.8 lkhs was earned. Rice powder making bussiness was aslo done but no significant earning could be made.
	Marketing	1. Seseme oil market is big and it is everywhere. 2. For powder making service, people from KMM nearby area will be targeted because there is no power making service. 3. Home stores and households in nearby villages will be targeted. 4. GMC helped advertising on Facebook Page for product promotion and got demands.	Seseme oil distribution was done as previous year. Some branded bottles were sent to Yangon market and Marketing officer of GMC helped with it.
	Expected outcome/ Goal and result	1. Now own brand could be produced and every bottles of seseme oil will be sold out like previous year. 2. Seseme from nearby people will be accepted to make oil in our mill. Service charge can be collected as regular income even when our seseme is finished selling.	despite political changes and insecurity, the price remained good and no significant loss or profit for the producers.
	Possible (Actual) Challenges/Diff iculties/Fails		
	Request by GMC		

Quarterly activity report

※ Submit once a quarter

KMM (Oil Mill and Grinding Factory)

Township	Item	3Q (June 2022 - Aug 2022)	
		Plan	Actual
KaMaMaung	Producing/Processing	seseme season is done, other crop such as pepper, legumes, rice and tumeric poder making will be done as per season. July- No oil was mill as it is off season. Powder machine and service will be continue. Aug: Seeding will be done. But Some farmers will start land preparation for next season.	No more seseme or tumeric powder as all of the products were sold out. Some farmers started preparing the seeds for next growing season such as collecting, exchanging etc. Aug: Land preparing activity for some of sememe fields. Plus adding cowdung and guano into the soil. Weeding was done. Sowing the seseme seed will be done in Sept>
	Marketing	As regular distribution for the nearby customers and regular supply to the online customers will be extended.	no marketing activity no more product, no more stock
	Expected outcome/ Goal and result	It is not growing season or marketing tiome. Most farmers are emphasizing on konjac growing at this very moment.	It is not growing season or marketing tiome. Most foarmers are emphasizing on konjac growing at this very moment.
	Possible (Actual) Challenges/Difficulties/Fails	Oil factory (support of GMC) is quite convenient but due to the political unstability and road stuck, Grain (stocks) could not be collected efficiently for the fine product (means Oil). Farmers wish they could produce more oil in coming year.	Oil factory (support of GMC) is quite convenient but due to the political unstability and road stuck, Grain (stocks) could not be collected efficiently for the fine product (means Oil). Farmers wish they could produce more oil in coming year.
	Request by GMC		

Quarterly activity report

※ Submit once a quarter

KMM (Oil Mill and Grinding Factory)

Township	Item	4Q (Sep 2022 - Nov 2022)	
		Plan	Actual
KaMaMaung	Producing/Processing	Sept: Seeding will be done. Almost 30 acres will be grown. Oct: Some missing plot will be re-filled with new sesame seedling.	Sept: 28 acres were filling with seedling. Oct: Ssmeme cultivation were going well and regular farm activity such as weeding, spraying chemicals and adding fertilizer were done.
	Marketing	Sept-Oct is growing season for the sesame. There will be no marketing activity.	As it is not a growin season, no marketing at all.
	Expected outcome/ Goal and result	Depending on the estimated prodcution cost, how many acres will be grown will be decided during September.	due to heavey rain, some seedlings were dead. In some plots, seeding was done again. They expected to get higher price because imported oil price are still going up and production cost for local sesame oil is high due to expensive inputs vice visa.
	Possible (Actual) Challenges/Difficulties/Fails	the price of imported vegetable oils getting expensive. Farmers expect to get the higher price too. The price of fertilizers and fuels are getting higer day by day and it is really challenging for the farmers (for initial production cost) to produce the sememe this year. Farmers are worrying about the price of oil (current situation is the more they produce, the more the loss is.)	The price of fertilizers and fuels are high so far and farmer concerned about the market price of the oil when they sell.
	Request by GMC		

Quarterly activity report

※ Submit once a quarter

KMM (Oil Mill and Grinding Factory)

Township	Item	1Q (Dec 2022 -Feb2023)	
		Plan	Actual
KaMaMaung	Producing/Processing	Dec: Rice field will be harvested. Sesame will be harvested. Jan: Oil mill will be started once the sesame got its optimum moisture. Tumeric plants will also be harvested.	Dec: Rice fields had been harvested. All of the sesame harvesting was completely finished and oil production has started for some acres. Feb: Oil mill has started its oil production activity and tumeric powder making will also be done for the dried ones. -Selling whole sale and inquiring the update price is continuously done during the season. -the oil milling service for sesame and turmeric will be accepted regularly. -hiring the tractor was done as a business and the income was kept for the repairing, future investment and social affairs/donation.
	Marketing	Dec: it is growing season and no marketing. Jan: Sesame oil and tumeric will be sold again to the Wonk shop as the previous year. Feb: Oil will be sold in whole sale. Tumeric powder will be packed and send to Wonk, some to the KMM market.	Jan-Feb: Oil was sold in whole sale.
	Expected outcome/ Goal and result		
	Possible (Actual) Challenges/Difficulties/Fails		
	Request by GMC		

Quarterly activity report

※ Submit once a quarter

KMM (Oil Mill and Grinding Factory)

Township	Item	2Q (Mar 2023 - May 2023)	
		Plan	Actual
KaMaMaung	Producing/Processing	Mar: Tumeric harvesting will be continuing the whole month. -Sesame oil production will be carried out until April.	Powder making service had done for the nearby villagers with a reasonable service charges. Owned tumeric and chill were giinded and sold at KMM market. The profit were shared to the member and some were remained for the maintenance of the machine. Seseme oil production was going well and every bucket was sold out. it will continue in April too. May: a farmer meeting was done, dividing the benefits and disscussing for the social distribution from the benefits, maintenance of the factory and marketing activity for the future.
	Marketing	Oil production will be continuing till the season ends. Hiring tractor will be served for the local people.	No special marketing was done because every processed goods were sold out. Oil production was done only in wholesale system. Tractor hiring and grass cutter hiring service was going well. Home made compost was tried for the vegetable farms. The income from vegetables and banana could make an extent; they want to try home made bokashi themselves.
	Expected outcome/ Goal and result		
	Possible (Actual) Challenges/Difficulties/Fails		As the road safety is insecure in KMM, the transportation was not so convenient. There fore they had to sell their products in nearby village and KMM local market with the reasonable priece. May: Transportation is still stuck most of the time due to the political unstability.
	Request by GMC		

Quarterly activity report

✧ Submit once a quarter

Woman Organization Network - Kayin (Hpa-An Township, Karen State)

Township	Item	2Q (Mar 2022 - May 2022)	
		Plan	Actual
Hpa-An	Producing/Processing		<p>* * Preparing and collecting local products.</p> <p>* Making coffee powder and distributed at groceries shops.</p> <p>* Making dried mushroom by using our provided machines.</p> <p>* They always have to refill the mushroom bags as their sales are going well.</p> <p>** In April, we provided them designe packaging for mushroom seedbags to attract the buyers/customers.</p> <p>* preparing and collecting local products, making dried mushroom and other value added products.</p> <p>* And refill mushroom bags(earwood mushroom) and they got sales on it too.</p> <p>*** In May, as usual they are preparing and making their local products.</p> <p>** And focusing on making coffee powder.</p>
	Marketing		<p>*WON Kayin Hair Tonic sales are observed good and distributed at many shops.</p> <p>* They can make more sales of mushroom and mushroom seedbags into the market.</p> <p>* Made WON Kayin handmade food such as oily sticky rice and stiky rice packed with leaves and sell it to the market.</p> <p>** Regarding for hair tonic, in the future they would upgrade with attractive packaging.</p> <p>***** They can sent their Unique coffee powder pack to oversea country through Maesot.</p>
	Expected outcome/ Goal and result		<p>* Some of the participants whose were attended from WON Kayin giving training, have already opened their shop and are selling bakery products at their places.</p> <p>* Planning to make more local products and also Honey Wine in the future.</p> <p>** for honey wine, they are planning to start but honey is not ready for them yet.</p>
	Possible (Actual) Challenges/Difficulties/Fails		<p>* As they would like to expand markets of bakery products, they would like to get more big machines in the future.</p> <p>*** They would like to open coffee shop and would sell their bakery products and local coffee/tea in the future.</p> <p>**** Raw materials for making breads and cakes/bakery activities are getting high so they have to struggle on it.</p>
	Request by GMC		

Quarterly activity report

✧ Submit once a quarter

Woman Organization Network - Kayin (Hpa-An Township, Karen State)

Township	Item	3Q (June 2022 - Aug 2022)	
		Plan	Actual
Hpa-An	Producing/Processing		<p>* In June, we GMC supported them coffee roaster machine, but still not arrived yet. Will be arrived mid of this July.</p> <p>They are preparing and collecting local products, making dried mushroom and other value added products.</p> <p>As always they are refill and maintaining of the mushroom bags.</p> <p>*** In July we GMC provided them, coffee dropper machine and related accessories items for their processing.</p> <p>Now they are doing new item of their product, instant Tar Lapauwt (Karen Traditional Food) and now they are selling into the market.</p> <p>And they made 3 in 1 instant coffee.</p> <p>**** In August, they are doing oily fried mushroom as a new item and marketing on SNS.</p> <p>And they are accept coffee via online and doing delivery services.</p> <p>As usual, they are preparing their local products.</p>
	Marketing		<p>* Unique coffee sales are going well as usual, and they can distributed at many shops.</p> <p>Oyster mushroom sales are not bad but earwood mushroom is a bit expensive so, they make dried (With our provided machine) mushroom, pack and send to the groceries shops.</p> <p>* Make new item of local product, instant fish paste powder. Dried lemon for making diet tea (with our provided machine).</p> <p>**** Now they are selling and display their products at Weaving and Vocational Training Center Hpa An.</p>
	Expected outcome/ Goal and result		<p>* Can contributed more than 30 attendees for bakery training.</p> <p>* Mobile shop sales also going well.</p> <p>* They are now start selling organic vegetables, such as, long and cucumber.</p> <p>*** Preparing to do Honey Wine soon.</p> <p>***** They are doing "Honey Wine" but the wine is not ready yet.</p> <p>They are testing the snails menu for their cafe.</p>
	Possible (Actual) Challenges/Difficulties/Fails		<p>* Raw materials for making breads and cakes/bakery activities are getting high so they have to struggle on it.</p> <p>* Regarding for delivery service, they are facing with check point case, so sometime the delivery time takes too long to the customers.</p> <p>**** As the consumer price is going up crazily and the MMK rate is going down everyday, they have the problem regarding for the products producing. So, they have to change their local products price.</p>
	Request by GMC		

Quarterly activity report

✧ Submit once a quarter

Woman Organization Network - Kayin (Hpa-An Township, Karen State)

Township	Item	4Q (Sep 2022 - Nov 2022)	
		Plan	Actual
Hpa-An	Producing/Processing		<p>* In September we provided them again big backing machine. As usual they are preparing their local products and produce new item every time. Refilled and preparing mushroom seedbags. Accept order/selling cakes and snacks as usual.</p> <p>*** In October, we provided them Fruit Solar Dryer for processing their local products. Refilled and preparing mushroom seedbags. Accept order/selling cakes and snacks as usual. Preparing their local products for selling and distributing to the market.</p>
	Marketing		<p>Their unique coffee is one of the best selling products. And they can distributed at many shops as well as online order. For this month they are making and selling Durian Jam as a new item local product. Made cotton cradle as a local products and sell it both online or their shop.</p> <p>** Make new item of oily cake and sell it to the market. And they are display their local products at Mrs Karen Coffee & Food Shop.</p>
	Expected outcome/ Goal and result		<p>Now they are open Coffee shop and selling coffee and food especially local karen foods by using our provided machine. And in their shop, grilled snails, snails salad are very popular now.</p> <p>*** Their coffee shop is going well and many people visited. And they are using mushroom as a menu at their shop. (Mushroom is one of our provided activity)</p>
	Possible (Actual) Challenges/Difficulties/Fails		<p>Every consumer price is getting high, they have to struggle on it. And its hard for them to set their local products price. Regarding for the delivery services, as the fuel price is getting high they are facing with some difficulties.</p>
	Request by GMC		

Quarterly activity report

✂ Submit once a quarter

Woman Organization Network - Kayin (Hpa-An Township, Karen State)

Township	Item	1Q (Dec 2022 - Feb 2023)	
		Plan	Actual
Hpa-An	Producing/Processing	To produce fish paste powder readymade with packing and distribution .	* Collecting and Preparing local product *Grinding and distribution coffee bean. *Sales and distribution of mushroom blossoms and mushroom seed bag. *Fish paste boiling, sun drying and powder grinding also produce. *Preparation for ordering local product from DSI. *Fish pond excavation.
	Marketing	We aim to export Singapore to local products such as Fish paste powder.	*Distributed the blooming oyster mushroom and ear wood mushroom to evening market and retailers. *We are able to make connection to export some local product to Singapore next month.
	Expected outcome/ Goal and result		*Expected to produce and sell 50 boxes for each product per year. *The profit expected to be around 300,000MMK to 400,000MMK.
	Possible (Actual) Challenges/Difficulties/Fails	Mrs,Karen coffee shop to make more popular with local traditional food among local peoples and travellers.	*We wish to provide P.O.S system to easy and smooth operation for sale report and accounting at Mrs,Karen Coffee Shop. *Events last December since there were public holidays,Mrs,Karen Coffee Shop were able to sell more than in January. *Mrs,Karen sells coffee and food products but it is reported that when buying food raw materials for replenishment ,the price have increased over time,so there is no cover and alittle profit made.
	Request by GMC		

Quarterly activity report

✧ Submit once a quarter

Woman Organization Network - Kayin (Hpa-An Township, Karen State)

Township	Item	2Q (Mar 2023 - May 2023)	
		Plan	Actual
Hpa-An	Producing/Processing	To produce fish paste powder readymade with packing and distribution .	20 Can Dried Fish Paste, sells to Hpa-An area and upgrading machine to produce more more pduct. The new product, magnetic oil(Blam), was also able to be sold to shops. Karen Handmade shirts Karen traditional fabrics were distributed online and orders were distributed.
	Marketing	*We will produce and sell (50) boxes for one item per yearExpected.	Produce and sold Oyster Mushroom seed bag 150 bad,Mushroom 50Viss,Wood Ear Mushroom seed bag 120bag and mushroom 65 Viss. Grinding of coffee beans. Distribution of coffee beans. Sales and distribution of mushroom packages and mushroom Seed. Ordered cake: Baking bread. Weaving of Karen Handmade shirts (Karen traditional cloth). Packaging of traditional Karen food (Talapot).
	Expected outcome/ Goal and result		WONK products Unique coffee,chili powder,tumeric powder,pepper,Mushroom,dry bamboo shoot,fish paste powder and dried lemon tea total sales in Mar price 3,578,100MMK.It is expected to produce and sell (50) boxes for one product per year. The profit is expected to be between 3 lakh and 4 lakh from each product.
	Possible (Actual) Challenges/Difficulties/Fails	*Mrs. Karen Coffee shopBirthday parties and receptions held at the food shop on big days like Valentine's Day. *The tables and chairs currently used in the shop came we don't yet have the ability to plan for each consumer. In addition, in this shop table in use because the seats are made of log. In addition to being heavy and difficult to move, consumers also have strength	Mrs Karen Coffee shop is going well. Since the hot spring season has arrived, the store has plans to sell ice-cream, so the current refrigerator is used to store meat, fish and linguine sticks, so it is found that there is a need for an additional refrigerator
	Request by GMC	*It is also known that they raised questions about it. So stylish, light, compact and strong tables and chairs for use in the shop it remains a requirement.	the summer season has arrived, we would like to add ICE-CREAM ROLL as a new menu in order for diners to defy the hot Season and taste the new taste, so we respectfully request you to support the ICE-CREAM ROLL MACHINE in order to expand the business seasonally. Due to the hot weather and power outages, stored meat, fish, Fruit loss is also a challenge.

Quarterly activity report

✂ Submit once a quarter

Hsar Mu Htaw Social Network (Leiktho region, Thandaung Township, Karen State)

Township	Item	2Q (Mar 2022 - May 2022)	
		Plan	Actual
Leiktho Region, Thandaung	Producing/ Processing		<p>* In March they are doing on going process of Export Quality Raw bean Robusta Coffee Program.</p> <p>* Preparing Process of value added products regional products and organic products</p> <p>* Evaluation program for income generation and livelihood program of Leiktho Thandaung Region Karen State.</p> <p>** In April, we provided them vacuum packing machine and cans for processing their local products such as, dried banana, bamboo shoot, tumeric powder, Honey coffee and betel nuts.</p> <p>*** In May, they went to coffee training workshop at Pyin Oo Lwin and they formed coffee cluster with their local people.</p>
	Marketing		<p>** Still produce their local products as usual, and follow up their activities such as, livestock and agricultural activity.</p> <p>** And planning to distribute their local products again to other big cities. .</p> <p>*** * Still preparing their local products/value added products to distribute to the big cities like Yangon, Mandalay and Nay Pyi Taw.</p> <p>**** They stick their brand logo on their local products such as, coffee, honey, tumeric powder, betel nuts ect.. and send them to Yangon.</p>
	Expected outcome/ Goal and result		<p>*** Doing follow up program regarding their local products with local people.</p> <p>**** They would like to do purified drinking water activities as soon as possible. Their purpose is to get income generation on it and also they can donate who really need with drinking water.</p> <p>** And they would like to do growing banana activities, as this activity is not very long term plantation and can make in come generation on it.</p> <p>**** In the future they would like to produce cardamon power as spice for cooking but now they are still under discussing with Daw Mi Mi Myint.</p>
	Possible (Actual) Challenges/Difficulties/Fails		<p>** some of the difficulties are, sometime if they arrived to remote areas, they are not in the coverage area so phone line and internet line is not access.</p> <p>* Evaluation program for income generation and livelihood program of Leiktho Thandaung Region Karen State.</p> <p>** Sweet bamboo plants are growing well and if possible they would like to get more and plant in their areas.</p>
	Request by GMC		

Quarterly activity report

✧ Submit once a quarter

Hsar Mu Htaw Social Network (Leiktho region, Thandaung Township, Karen State)

Township	Item	3Q (June 2022 - Aug 2022)	
		Plan	Actual
Leiktho Region, Thandaung	Producing/ Processing		<p>In June, we GMC provided them packing, cans and other materials for gift set for their local products. As usual, they are selling their local products and distributed to other cities.</p> <p>And they are doing Monitoring and Evaluation Programme Activities with their local staffs.</p> <p>*** In July, we GMC provided them for applied license and lab test for their local products at SSID (Small Scales Industrial Department Hpa An).</p> <p>* Preparing to do their local products as gift set as a souvenir.</p> <p>* Now they are doing green tea leaf (Dried) activities too.</p> <p>**** The gift set will be ready next month.</p> <p>Regarding for opening bakery shop, they would like to open but due their area situation, they still wait and see.</p>
	Marketing		<p>* As usual, they are selling and distributed their local products in their areas and other cities too.</p> <p>* Our provided machine are very useful for them, most of their products are dried by our provided machine.</p> <p>* Now planning to make dried cardemon powder (Spices) as a new item. can use in cooking.</p> <p>*** They already did dried cardemon powder and now doing lab test at SSID.</p> <p>***** The lab test and certificate are already done.</p> <p>And they will active their Facebook page soon. (Starting from next month)</p>
	Expected outcome/ Goal and result		<p>** They would like to promote cardamon power, using as spice. And some people are trying to drink with coffee.</p> <p>Regarding for purified drinking water project, they are still interesting but due to the budget (construction and tubewell cost) they are still discussing. But they said end of this month or early of next month they would give us feedback.</p> <p>**** They would like to promote their local product, green tea leaf so within next month (Sep) they would held the workshop.</p>
	Possible (Actual) Challenges/Difficulties/Fails		<p>* Their difficulties are, there are small fighting near their areas so they have to be careful whenever they go out.</p> <p>** Small fighting is still happened and they have to take care of their safety.</p> <p>**** Small fighting is still happening at their areas so, they have to take care of their safety.</p>
	Request by GMC		

Quarterly activity report

✂ Submit once a quarter

Hsar Mu Htaw Social Network (Leiktho region, Thandaung Township, Karen State)

Township	Item	4Q (Sep 2022 - Nov 2022)	
		Plan	Actual
Leiktho Region, Thandaung	Producing/ Processing		<p>In September we supported them to hold Green Tea Products Processing Training. As usual, they are selling their local products and distributed to other cities.</p> <p>** In October, we GMC supported them Green house solar dryer for processing their local products. As usual, they are selling their local products and distributed to other cities.</p>
	Marketing		<p>Now, their coffee are displayed at Mann Saw Karen Mote Hin Khar shop (the shop that only karen youths are organized and open the shop) at Yangon. Their local products such as honey and canned products are also displayed at that shop.</p> <p>**** Regarding for their marketing activities, they are selling the whole leiktho Thandaung Region Karen State. Hpa An Karen State. Loikaw Onlin Sales. Christian Sister School (Good Shepherd Sister School) to the other christian communities. Delivered to italian market. through DMMM, selling coffee raw bean.</p>
	Expected outcome/ Goal and result		<p>Now they are already posted post on their facebook page. But not much people liked and follow it yet. We will work on it/follow up it. As this season is harvesting cardamon season, they will emphazing and doing value added products of it. They are preparing Green Tea products also.</p> <p>*** Their Kenson bamboo plants is going well. And they are grafted and replant for more plants.</p>
	Possible (Actual) Challenges/Difficulties/Fails		<p>Their difficulties are, sometime some of their areas can't get internet access. And small fighting is happening unexpectedly so, they have to be care on that case.</p>
	Request by GMC		

Quarterly activity report

✂ Submit once a quarter

Hsar Mu Htaw Social Network (Leiktho region, Thandaung Township, Karen State)

Township	Item	1Q (Dec 2022 -Feb 2023)	
		Plan	Actual
Leiktho Region, Thandaung	Producing/ Processing	Regular farm maintenance and production of processing product will be done. Coffee picking will be done. Feb: Regular activities as usual in farming, monitoring and meeting	1- Monitoring And Evaluation meeting for Value Added Products, Regional Products, and Organic Products of Leiktho Thandaung Region Karen State. 2- Preparing,Production, Processing and Marketing Programme for Export Quality Coffee Product Programme.(For Harvest Seasonal Crops of coffee (Robester Coffee and Arabica coffee). (For 2023 to 2024) 3- Discussion, Zoom Meeting Of Value Added Products for Coffee, Cardamom, Tea and Turmeric. 1-Attendance, Participation for Coffee Production, Sharing Knowledge and Information Workshop,Pyin Oo Lin. (Included with Processing,Production, Promotion,Marketing, Export Quality Products, Value Added Products ,Regional Products, and Organic Products.) Feb: Regular Zoom meeting was done for monitoring on cash crop Phala, sharing on the political situation, the potentiality of value added product production and its economical aspects. Members are considering for the Coffee and its potentiality for export channel and Sustainable agroecological agricultural practice programme. Feb: Participaton of Program of Agroeco Agri Practice for Leiktho region.
	Marketing		Coffee market has potential to export. Other crops will be linked with coffee buyer. Coffee raw bean, Robuster coffee had sold at local market. Still wait and see for the Export market.
	Expected outcome/ Goal and result		
	Possible (Actual) Challenges/Difficulties/Fails		
	Request by GMC		

Quarterly activity report

✂ Submit once a quarter

Hsar Mu Htaw Social Network (Leiktho region, Thandaung Township, Karen State)

Township	Item	2Q (Mar 2023 - May 2023)	
		Plan	Actual
Leiktho Region, Thandaung	Producing/Processing	Regular farm maintenance and regular meeting will be conducted.	<p>March: Farming activities were done as usual. Some villagers from the project site were invited to attend the sustainable agricultural and agroforestry system by other NGOs within this month. Coffee raw bean were harvested and prepared for the export as well as domestic demand. A coffee shop had opened in Taungoo for the youths who had to flee from the battle ground (TDG area). Farm work were done as usual for the Phala, Cadamon and tumeric.</p> <p>April and May: Preparation for exporting coffee abroad</p> <p>Coffee shop at TDG was opened but it is struggling for the demand as it was not a travelling season but it will be the practicing season for the youth.</p>
	Marketing		<p>export market has linked via government assist and necessary workshops were continuously held.</p> <p>Daw Mi Mi Myint is the counterpart.</p>
	Expected outcome/ Goal and result		TDG reported that Kenson bamboo field was established very well and will be reproduced for selling the nursery plants. Value added and processing activity will be done for the coffee, cadamon and chilli etc..
	Possible (Actual) Challenges/Difficulties/Fails		As the political situation is getting worse in TDG area, the transportation got worse too. They are trying their best despite the unstable policy, severe road safety and insecure market demand.
	Request by GMC		

Quarterly activity report

※ Submit once a quarter

Sausage producer

Township	Item	2Q (Mar 2022 - May 2022)	
		Plan	Actual
Myawaddy	Producing/Processing	to produce 6 products, 2 kinds of pork sausage, flat pork, sai krawk, Karen recipe sausage and chicken sausage.	<p>* In March, produced chicken sausage and chicken meatball (customer order) and distributed the products to the MWD distributor. Pork Sausage production is temporarily stopped, because of raw meat prices.</p> <p>* Currently, due to unbalance of demand and supply, pork raw meat price is very high in our region. However, Sai Krawk (pork meatball) is in re-production and fermentation stages currently. We aiming at Thingyan (Water Festival) Market.</p> <p>* In April, the sausage factory is renovated for Hygiene issues. Already send Chicken Sausage (sample for taste) to WONK. If they like the taste can start to supply chicken sausage for WONK's burger and hotdog.</p> <p>* On 25th April, we start to apply to get a license from the Directorate of Industrial Supervision and Inspection (DISI) and an SME member card.</p> <p>* In May, Myawaddy sausage factory received the license (private industry registration certificate) from DISI (Directorate of Industrial Supervision and Inspection) under MoI. MWD sausage factory also applied SME Member Cards to recognize MWD sausage factory as SMEs to the government and it is still processing. In the last week of May, MWD sausage factory will start to distribute Karen Sausage in new sizes and new tastes. MWD sausage factory and Royal Express Service (Popular Delivery Service in Myanmar) made a contract for delivery</p>
	Marketing	<p>1. Myawaddy Tsp, HpaAn, Yangon, Mandalay and Nay Pyi Taw will be targeted to increase market area.</p> <p>2. Homestores 20 villages in Myawaddy Tsp will be distributed.</p> <p>*It will continue to distribute to grocery stores in about 20 villages.</p>	<p>* Currently, focusing on MWD market, to produce chicken sausage. Also plan to produce Sai Krawk (pork meatball) for the Water Festival market.</p> <p>* In the last week of April, we started distributing to NPT. The Water Festival market is not ok as we thought.</p> <p>*In May, MWD sausage factory negotiate with the distributor from Mandalay to distribute upper Myanmar market.</p>
	Expected outcome/ Goal and result	<ul style="list-style-type: none"> • to get market share because there's no other sausage production near our based area. . to re-exposure forbidden Karen culture food. • Usual food which we eat in our daily life • Market penetrating (on-ground and online) 	<p>* In March, 230 packages of chicken sausage and 50 packages of chicken meatball were sold to the MWD distributor. * Now we get distributors at MWD, Mawlamyine, and Yangon. Other City Distributors are interested in our product.</p> <p>* 885,000 MMK sausage sales in April. Product was distributed to Yangon, Maw La Myine and MWD.</p> <p>* In May, 50 packages (chicken sausage) to Yangon new place, 25 packages of (chicken and pork) sausage to Maw La Myine, and 40 packages (chicken sausage) to Naw Pyi Taw. 435,000 MMK sausage sales in May.</p>
	Possible (Actual) Challenges/Difficulties/Fails		<p>* In March, rising gas prices have pushed up the prices of all the raw materials needed for sausage production and faced an electricity shortage problem. *We facing limitations in producing a mass amount of products and distributing the whole country.</p> <p>* In April, the electricity shortage problem give us a big problem. The freezers are can't run due to an electricity shortage, and the raw meats for 300 packages were damaged. Asian Road is closed down often due to fighting. Because of that, we can't deliver the orders in time to the customers. We expected strong production for Water Festival's market, but political instability did not turn out as well as expected. The Collagen casing for sausage was hard to buy in Myanmar due to the Chinese-Myanmar border shut down.</p> <p>*In May, the electricity shortage problem give us a big problem too. Due to the currency exchange range, raw meat for pork sausage was high. Higher gas prices</p>
	Request by GMC		

Quarterly activity report

※ Submit once a quarter

Sausage producer

Township	Item	3Q (June 2022 - Aug 2022)	
		Plan	Actual
Myawaddy	Producing/Processing	to produce 6 products, 2 kinds of pork sausage, flat pork, sai krawk, Karen recipe sausage and chicken sausage.	In June, MWD sausage factory produced Karen Sausage (30 kg), Pork Sausage (Sweet Version) 5 kg, and Chicken Sausage (30 kg). * In July, 25 kg of Karen Sausage and 27 kg of Chicken Sausage were produced. MWD sausage factory received SME member card from DISI (Directorate of Industrial Supervision and Inspection). After an exchange discussion with WONK, MWD sausage factory plan to separate 4 categories for Karen Sausage. (1) to produce (160 g) package, (price will be set for MWD sausage factory and WONK, after calculating) (2) original version (current size and current price) (3) Karen fried sausage (small package version, size, and price not confirmed yet). (4) Karen Sausage for WONK BBQ shop and other shops in Hpa-An (size and price not confirmed yet). MWD sausage factory plan to find out how to use preservatives in sausages without harming consumers. * In August, produced 33kg of Karen Sausage.
	Marketing	1. Myawaddy Tsp, HpaAn, Yangon, Mandalay and Nay Pyi Taw will be targeted to increase market area. 2. Homestores 20 villages in Myawaddy Tsp will be distributed. *It will continue to distribute to grocery stores in about 20 villages.	In June, Chicken Sausage, 100 packages were sold to Maw La Myine distributor and 120 packages to Yangon distributor. Karen Sausage 15 kg were sold in MWD township. MWD sausage factory trying to expand the market to HpaAn city in next month. In July, 20 kg of Karen Sausage and 100 packages of Chicken Sausage were delivered to Maw La Myine. And 50 packages of Chicken Sausage were delivered to Yangon. After the size and the price set, WONK will be collect the orders for the sausage products. * In August, we delivered Karen Sausage to Yangon, Hpa-An, and Maw La Myine. 22 kg to Maw La Myine, 5 kg to Yangon and 4 kg to Hpa-An.
	Expected outcome/ Goal and result	<ul style="list-style-type: none"> • to get market share because there's no other sausage production near our based area. . to re-exposure forbidden Karen culture food. • Usual food which we eat in our daily life • Market penetrating (on-ground and online) 	In June, 35 kg of chicken and 15 kg of Karen sausage can be sold. Chicken sausage 35 kg (220 packages x 3000 MMK = 660,000 MMK) and Karen Sausage 15 kg (15 x 30000 MMK = 450,000 MMK). Total 111,0000 MMK received from June sausage sales. In July, 20 kg of Karen Sausage and 150 packages of Chicken Sausage sales. Karen Sausage (20000x20 = 400,000 MMK), Chicken Sausage (3000x150 =450,000 MMK). Total of 850,000 MMK received from July sausage sales. * In August, total of 745,000 mmk was received from August sausage sales.
	Possible (Actual) Challenges/Difficulties/Fails		MWD sausage factory plan to increase product prices, due to rising commodity prices and gas prices. However, we are concerned that consumers may not be able to purchase our sausage product due to jumped price. Because of the current situation, we are facing difficulties judging to adjust the sausage prices. In July, the commodity price is still raised. The distributors do not want to stock sausage products on their side. MWD sausage factory had to send the product to the distributors with the system of (Payment is received for the product sold only after the product has been sold). MWD sausage products that do not use preservatives, did not dare to produce without receiving an order. Expired and out-of-flavor sausage products must be returned from distributors and had to replace the products. Since it was a (Payment is received for the product sold only after the product has been sold) system rather than an immediate purchase, MWD Sausage Factory did not dare to deliver many amounts to distribution agents. The
	Request by GMC		

Quarterly activity report

※ Submit once a quarter

Sausage producer

Township	Item	4Q (Sep 2022 - Nov 2022)	
		Plan	Actual
Myawaddy	Producing/Processing	to produce 6 products, 2 kinds of pork sausage, flat pork, sai krawk, Karen recipe sausage and chicken sausage.	<p>* In September, 18 kg of Karen Sausage was produced and delivered to the customer from Maw La Myine and Yangon.</p> <p>* In October, 13 kg of Karen Sausage was produced and delivered to the customers.</p> <p>* In November, produced 20 kg of Karen Sausage.</p>
	Marketing	<p>1. Myawaddy Tsp, HpaAn, Yangon, Mandalay and Nay Pyi Taw will be targeted to increase market area.</p> <p>2. Homestores 20 villages in Myawaddy Tsp will be distributed.</p> <p>*It will continue to distribute to grocery stores in about 20 villages.</p>	<p>* In September, the advertising process for Karen Sausage with the influencer from Hpa-An was finished. Due to the advertising, we are receiving several orders from different cities. We negotiated with WONK cafe to add a sausage menu to their menu list.</p> <p>* In October, we delivered Karen Sausage orders to customers. Maw La Myine (5kg), Mandalay (3kg), Nay Pyi Taw (2kg) and WONK cafe (5kg).</p> <p>* In November, we delivered Karen Sausage orders to the customers from Hpa An and Maw La Myine.</p>
	Expected outcome/ Goal and result	<ul style="list-style-type: none"> • to get market share because there's no other sausage production near our based area. . to re-exposure forbidden Karen culture food. • Usual food which we eat in our daily life • Market penetrating (on-ground and online) 	<p>* In September, received 501,500 mmk from Karen Sausage sales.</p> <p>* In October, received 455,000 mmk from Karen Sausage sales.</p> <p>* In November, received 350,000 mmk from Karen Sausage sales.</p>
	Possible (Actual) Challenges/Difficulties/Fails		<p>* In September, since the power outage in Myawaddy has been going on for more than 1 month, there are many difficulties in the production of sausages. Although we have a small generator, we cannot provide electricity to the coolers almost all the time, we have to care for meat damage so we have to make very careful decisions for production. The steps required to produce sausages cannot be fully powered by electricity and high gas prices, since September 21st, Karen sausage has been sold at a rate of 45,000 kyats per kg.</p> <p>* In October, electricity is back in MWD. Therefore we reduced the Karen Sausage price by 1 kg to 35,000 mmk. Due to the fighting in KKR area transportation is stuck and we temporarily stop to receive orders from customers.</p> <p>* In November, in order to make it convenient for those who buy and support Karen Sausage, the price of Karen Sausage is reduced to 25,000 kyats per kilo.</p>
	Request by GMC		

Quarterly activity report

※ Submit once a quarter

Sausage producer

Township	Item	1Q (Dec2022 Feb2023)	
		Plan	Actual
Myawaddy	Producing/Processing	Dec: sausage will be producing as per order.	13 kg of sausages had been produced and 337500 MMK was earned. In the Kayin New Year Booth, 25 kg was produced and all are sold out. 625000 was earned.
	Marketing		10 kg of sausage was sent to HpaAn and 3 kg was to Mawlamyine. 25 kg was introduced in the Kayin New Year Booth as marketing activity.
	Expected outcome/ Goal and result	Cause of power outage in previous month we reduced produce	*In November 20kg produce and received 350000mmk for 14 kg. 6 kg used as complimentry and gift for Minister and guest . *In December 15.5 kg produce and received 387500mmk, delivered to Hpaan and Mawlamyine . *In January 20Kg produce and received 500000mmk ,delivered to Hpaan, Mawlamyine, Kyauk Sel, Yangon and Myawaddy by Online Selling
	Possible (Actual) Challenges/Difficulties/Fails	Target sale to over 50kg by Online marketing in this month,	*In November also Second time destroyed Electric station
	Request by GMC		

Quarterly activity report

※ Submit once a quarter

Sausage producer

Township	Item	2Q (Mar 2023 - May 2023)	
		Plan	Actual
Myawaddy	Producing/Processing	*To re produce other kind of sausage such as chinese pork and chicken.	*Only produced kayin Sausage 43Kg and other Kind of sausage can not produce current political situation.
	Marketing	*Promote to sale by online marketing. *To sale with booth at night market with griller,	*Only sale from online marketing
	Expected outcome/ Goal and result	*Tatget sale to Kayin Sausage ...50kg and chinese sausage pork 20kg chicken 20kg per month.	Only produce Kayin sausage 43Kg per month.
	Possible (Actual) Challenges/Difficulties/Fails	To slove electrical outage and hight price for raw materials,	*MWD - Hpaan high-way is blocked cause of battle and still electrical black-out. So only can sell in Myawaddy .Meat cutting machine, Mixer machine, grinding are changed to small size and some machinr changed to manual.
	Request by GMC		Excessive heat, prolonged power outages, high fuel prices, and damage to building roofs due to strong winds. New production has been temporarily suspended this month due to the ongoing fighting in Myawati City and the evacuation of residents to safe havens.

Quarterly activity report

※ Submit once a quarter

Zaw Tar Pyin fish park

Township	Item	2Q (Mar 2022 - May 2022)	
		Plan	Actual
Zar Tha Pyin	Producing/Processing		<p>April</p> <ol style="list-style-type: none"> Weeding was completed inside and outside the 5-acre pond. The new weeds are sprayed with herbicides. On April 14, 2022, General Htein Maung's wife, Naw Mariya, and about 30 members of the armed forces' families flooded Lake No. 5 in Zathapyin fish pond and caught fish. Tilapia/ Swamp barb and Catfish were caught 75 vissees. Many small species of tilapia are migrated to other lakes. On 16.4.2022, more fish were pumped out of pond No. 2, and fish were caught and sold. At a price of 5,000 kyat per pisa, 80 pisa was sold to the villages in the Naw Ta Yar area. Received 400,000 kyats for 80 vissees of fish. A total of 155 vissees have been caught this month. Ponds No. 3 and 4 have been replenished with water and fish farming will continue. Fishes from the ponds will be caught in 2023. Two ponds No. 2 and No. 5 and lime are used for sun-drying. <p>May</p> <ol style="list-style-type: none"> 1-acre expansive fish ponds have been sprayed with cow dung.
	Marketing		
	Expected outcome/ Goal and result		
	Possible (Actual) Challenges/Difficulties/Fails		
	Request by GMC		

Quarterly activity report

※ Submit once a quarter

Zaw Tar Pyin fish park

Township	Item	3Q (June 2022 - Aug 2022)	
		Plan	Actual
Zar Tha Pyin	Producing/ Processing	<p>June: July: Different kinds of fish will be cultivated in the prepared ponds. Different kinds of vegetable will be grown. One more 1.5 acre pond was repaired for the fertility and sanitation and new species will be cultivated.</p>	<p>water had been reserved enough in the ponds for the next round</p> <p>Tilapia from last season has been propagating a lot and general maintenance has been done. Existing coconut, moringa and banana trees has been taken care like fertilizing and weeding. Hats which were knocked down last month was prepared. Hardware supported by GMC like fibre boat, pumping machine, Solar battery set were bought.</p>
	Marketing	<p>June, July Aug: these months are raining season and not harvest time for fishery, there will be no marketing activity.</p>	No marketing
	Expected outcome/ Goal and result	<p>June, July, Aug are flooding season. Therefore, a fibre boat and motored-boat were requested to support for transportation, sending the feeds for livestock and nursery plants.</p>	<p>As it was flooding season, no vehicles could use the earthen road, so the motored-boat were used for transportation. -Only two regular staff are always assigned for taking care of ponds.</p>
	Possible (Actual) Challenges/Difficulties/Fails		
	Request by GMC		

Quarterly activity report

※ Submit once a quarter

Zaw Tar Pyin fish park

Township	Item	4Q (Sep 2022 - Nov 2022)	
		Plan	Actual
Zar Tha Pyin	Producing/Processing	Regular farm maintenance Wild fish would be eliminated regularly. As the weather will be pretty fine, Rainfall will be decreasing, they would start fishing in Sept. Ducks will be laying in September. Oct: water level would be decreasing and adult fish will be collected for sending market. Oct: Ponds No3 and No 4 will be harvested in the end of Oct. all the small fish will be processed into paste. Bigger ones will for the fresh market.	Farming was done as usual. Wild fish elimination was done as usual. Vegetable farming was extended for self consumption and for selling purpose. Solar light were arranged to collect the insects so the the fish could get them as food. Nov: Ponds were weekly sanitized with lime powder, cutting the grass and measuring the water pH regularly. Vegetable beds were extended for self consumption and purposing to sell in the market. Winter season crops were raised too. Tlarpia and Burbus are reproducing naturally themselves.
	Marketing	Sept: Fish will be collected for the retail market. Oct: Nov: Shop will be opened for displaying and selling the fish and vegetables, agricultural tools and Peace Delight Bokashi.	Fish were harvested and sold on the roadside in front of the ponds and it could make a good income for the first time. No duck egg could be collected due to unknown disease and only adult duck could be sold as raw meat.
	Expected outcome/ Goal and result		
	Possible (Actual) Challenges/Difficulties/Fails		Unexpectedly, some of the ducks were dead due to unknown disease and tried to cure it. But the treatment couldn't cover the disease and all of the ducks were sold out as fresh meat. The duck coop was treated with lime powder to eliminate the pathogens and duck rearing will be started in coming December again.
	Request by GMC		

Quarterly activity report

※ Submit once a quarter

Zaw Tar Pyin fish park

Township	Item	1Q (Dec2022 -Feb2023)	
		Plan	Actual
Zar Tha Pyin	Producing/ Processing	Dec: 300 ducks has arrived as the fisht batch and water supply system has installed. Jan: Duck will produce the eggs and fish paste will be making. Feb: duck eggs will be increasing gradually.	Duck started show the eggs but most were still. Duck will be laying eggs fully in the fist week of Feb but the number of eggs will be increasing gradually. Fish Ponds were cleaned weekly to prevent the predators and for pond sanitaion. Straw were collected and kept in the store for making silage and duck flooring material. Duck cultivation was going well and number of eggs has increased gradually. Regular duck coop maintenance was done 2 days interval. Duck feed container and water bowl were cleaned thrice per day to prevent the fungus disease (wind dispersal). As the feaces were dropping into the ponds, fish could get the extra nutrients from the residual effect of duck feed, fish productivity will be increased. Feb: number of egg increased. no special activities for fish.
	Marketing	Eggs will be sold in nearby villages together with the vegetables.	Eggs were carried to HKK (PcHq). Some were sold and some were shared to the PC seniors as gift for the purpose of marketing and introduction as new product.
	Expected outcome/ Goal and result		
	Possible (Actual) Challenges/Difficulties/Fails		
	Request by GMC	We requested ZTP to submit the master plan to make profit.	

Quarterly activity report

※ Submit once a quarter

Zaw Tar Pyin fish park

Township	Item	2Q (Mar 2023 - May 2023)	
		Plan	Actual
Zar Tha Pyin	Producing/Processing	Mar: duck will be raised as usual. As it is a dry season, vegetable production will not be conducted. Apr and May: Land preparation for the paddy will be done. Some ponds will be renovated with manure and lime for sanitation. Some ponds will be harvested.	Mar: number of egg increased and egg production was going well. New fish ponds which were filled with baby fish are going well. Land preparation was done for the rice and legume production. Apr: Ponds were renovated, the boundaries were repaired and water level was reduced and some were dry out to eliminate the wild fish. May: the ponds were refertilized with the lime and manure to refresh the water and enhance the sanitation. Land preparation was done for the paddies for coming monsoon season.
	Marketing		duck egg were sold in near by village and some were brought to HKK for selling.
	Expected outcome/ Goal and result		
	Possible (Actual) Challenges/Difficulties/Fails		due to the shortage of labor and poor human resource management, GMC consulted with the ZTP ew regarding doing joint-business by calling partner or collaborators , but currently ZTP denied the suggestion and they started land preparation for the rainfed rice production in coming raining season. by seeing results, GMC would consider the support would be continued or not.
	Request by GMC		

3-2. ミャンマー当局や民間企業との連携細評

【概要】

目的： 一時的な支援とならないよう、民間企業や政府と連携をしながら生産することで、持続可能な仕組みづくりを行う

活動の枠組み： ミャンマー国内外の企業と共に契約生産による少数民族地域住民の収入向上に向けた活動を実施した。

バアン郡： カレン州女性団体ネットワーク（Woman Organization Network in Kayin state）

コーヒー： 地元のショッピングセンターに卸売り。加えてタイ企業を通し、タイに輸出

乾燥キクラゲ： ミャンマー企業・中国企業を通し、タイと中国に輸出

キノコ菌床： パッケージを箱入りに変えることで、販売額を1.5倍に

コーカレイ郡： ピースデライト財団（Peace Delight Foundation）

飲料用天然水： ガソリンスタンド6社とOEM生産契約をし、GSオリジナルのボトルで生産

ぼかし有機肥料： 農業専門店での専属契約として卸販売

パプン郡： パプン生産者機構（Hpapun Producer Association）

乾燥こんにゃく： タイ企業への輸出を進めていたものの、品質向上後の取引となっている

こんにゃくの種芋： パプン郡の農業組合を通して、地元農家に種芋の販売







タンダウンジー郡： サムトウ社会ネットワーク（Hsar Mu Hta Social Network）

コーヒー： ミャンマー商社と取引を進め、日本・イタリア・オーストラリアに輸出

ミャワディー郡： レーケーコーエコロジカル農場（Lay Kay Kaw Ecological Farm）

ソーセージ： ミャンマー国内のスーパーや食料品店に卸販売

		
Coffee @ Hpa-An	Dried mushroom @ Hpa-An	Mushroom Bag@ Hpa-An
		
Purified water@ Kawkareik	Purified water@ Kawkareik	Bokashi fertilizer @ Kawkareik

		
Dried konjac @ Hpapun	Konjak seed	Coffee @ TDG
		
Coffee @ TDG	Sausage @ Myawaddy	Sausage @ Myawaddy